

第十回 衆議院議事速記録第二十號

明治三十年三月二十二日(月曜日)午後一時二十八分開議

議事日程 第三十號 明治三十年三月二十二日 午後一時開議

- 第一 砂防法案(政府提出) 第二讀會
- 第二 北海道國有未開地處分法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 罹災救助基金法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 阿片法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第六 株式會社十五銀行株式華族世襲財產ト爲スノ件 第一讀會
- 第七 法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 重要輸出品同業組合法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會
- 第十 海上衝突豫防法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會
- 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十二 航海獎勵法案(政府提出) 第一讀會
- 第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十四 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件 第一讀會
- 第十五 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件 第一讀會
- 第十六 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件 第一讀會
- 第十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十八 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十 明治二十七年法律第十五號中追加法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 前會ノ續
- 第二十二 安藝國嚴島神社ニ保存費補助ノ建議案(小鷹狩元凱君外十名提出) 前會ノ續
- 第二十三 裁判所構成法中改正法律案(鈴木充美君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

- 第二十四 登錄稅法中改正法律案(齋藤良輔君外八名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十五 登錄稅法中改正法律案(廣住久道君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十六 會計年度改正ニ關スル建議案(小坂善之助君外九名提出) (委員長報告)
- 第二十七 離島航海補助費ニ關スル建議案(島村成達君外四名提出)
- 第二十八 廣島縣下郡廢置法律案(富永正男君外九名提出) 第一讀會
- 第二十九 明治二十二年法律第十號中改正法律案(片岡健吉君外七名提出) 第一讀會
- 第三十 民法中改正法律案(元田肇君外一名提出) 第一讀會
- 第三十一 民法中削除法律案(柏田盛文君外一名提出) 第一讀會

○議長(鳩山和夫君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ爲シマス (田中書記官朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治三十年度歲入歳出總豫算追加案(總追第五號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件(總追第五號所屬)

明治三十年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特追第七號)

愛知縣第十選舉區選出衆議院議員補闕トシテ小林仲次君當選セラレタル旨通牒アリ

貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル政府提出明治二十七年法律第二十三號改正法律案及兩院協議會ノ成案ニ係ル明治三十年度歲入歳出總豫算案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

國費ヲ以テ教科用圖書ヲ編纂スルノ建議案

提出者 工藤行幹君

製艦費補足御下賜金及官吏納付金廢止ニ關スル建議案

提出者 長谷場純孝君 杉村寬正君

綾井武夫君 佐々木正藏君

松尾寬三君

久保九兵衛君大針德兵衛君竹尾茂君ヨリ稅務官吏違法處分ノ件ニ付質問書ヲ提出セラレタリ

兩院協議會議長及副議長左ノ適當選セラレタリ

鐵道敷設法中改正法律案

協議會議 長 望 月 右 内 君

同 副議長 中 野 武 營 君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

稅務官違法處分ノ件質問書

右成規ニ依リ提出候也

明治三十年三月二十二日

久保 九兵衛
大針 德兵衛
竹 尾 茂
田 中 正造
外三十七名

贊成者

贊成者

田 中 正造

贊成者

外三十七名

質問書

營業稅法第三十三條ニ據レハ(收稅官吏ハ營業ニ關スル帳簿物件ヲ檢査シ又ハ營業者ニ尋問スル事ヲ得)トアツテ營業者ノ帳簿ヲ押收スルノ權利ナシト信ス況ヤ犯則者ニ非サル營業者ノ帳簿ヲ押收スルカ如キコトアルニ於テヲヤ然ルニ福井縣ノ稅務官吏ハ營業者ノ帳簿ヲ押收シ稅務署ニ止メ置クコト殆ト一週間ニ至リシ者アリ今其二三ノ例ヲ舉ケレハ

福井市佐久良上町 羽二重商

同 佐久良中町 時計商

同 老松上町 機業

同 今立郡栗田部村 同

同 其他郡市町村ニ於テ枚舉ニ違アラズ

同 重野五良兵衛

同 本庄 榮 政

同 中島 宗十郎

同 血澤 松太郎

同 福井縣ノ稅務官吏ハ本人不在中稅務官出張シ稅務官自ラ不當ナル屆書ヲ認

メ留守番ノ者ニ強テ調印セシメタリ其人名左ニ記載ス

福井縣阪井郡磯部村機業家横井善之助

本員等ハ右ノ事實アルヲ確聞ス政府ハ稅務官ニ向ツテ如此特權ヲ與ヘタル

カ若シ其權ヲ與ヘサルモノトセハ如何ナル處置ヲナサントスルヤ

右及質問候也

○議長(鳩山和夫君) 愛知縣第十區ヨリ選出セラレマシタ議員ヲ御紹介ヲ致

シマス、小林仲次君

(小林仲次君起立ス拍手起ル)

○議長(鳩山和夫君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

(久保九兵衛君演壇ニ登ル)

○元田肇君(百十二番) 私ハ許可ヲ得タイ、豫算委員會ヲ是カラ開キマスカ

ラ委員ダケハ退席ヲ……

○議長(鳩山和夫君) 諸君ニ御異議ガナケレバ宜シウゴザイマス

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ許スコトニ致シマス

○久保九兵衛君(九十六番) 諸君、私ハ稅務官違法處分ノ件ニ就キマシテ、

政府ハ質問書ヲ提出致シマシタ理由ヲ、單簡ニ述ベタウゴザイマス、營業稅法

第三十三條ニ「稅務官吏ハ營業ニ關スル帳簿物件ヲ檢査シ又ハ營業者ニ關シ

テ尋問スルコトヲ得」トゴザイマス、營業者ノ帳簿ヲ押收スル法又ト云フモ

ノハ、此稅法ニハゴザイマセヌ、況ヤ犯罪者ニアラザル者ノ營業者ノ帳簿ヲ押

收スル如キハ、最モ不當ノ甚キモノト斷言ヲ致シマスモ、ゴザイマス、然

ルニ福井縣ノ稅務官吏ハ帳簿ヲ押收シ、七日間モ稅務署ニ之ヲ留置イタト云

フコトデゴザイマスガ、其人名ヲ申上ゲマスレバ、福井市ノ佐久良上町羽二

重商ノ血澤松太郎、同市佐久良中町時計商中島宗十郎、同市老松上町機業

本庄榮政、今立郡栗田部村機業市野五良兵衛、其他ニ昨日ノ電報ニ依ッテ見

マスルト「松下田中右帳簿取上ケラレ請求シテモ返サナイ」斯ウ云フ電報ガ福

井市カラ參ッテ來タノデゴザイマス、殊ニ血澤松太郎氏ノ如キハ、突然稅務官

吏ガ六名モ家ニ這入りマシテ、家宅搜索マデモ致シマシタルノミナラス、御婆

サシノ珠數囊マデモ 探索ラシタト云フコトデゴザイマスガ、珠數囊ノ中ニ

營業上ノ帳簿ト云フモノハ決シテアルモノデハゴザイマセヌ、又同縣阪井郡

ノ磯部村機業家横井善三郎ト云フ者ガ不在デアツタノデゴザイマス、其不在

中ニモ拘ラズ、稅務官吏ガ出張シテ、稅務官自ラ不當ナル屆書ヲ認メマシ

テ、留守番ノ者ニ強テ調印ヲ致サセタト云フコトデゴザイマス、若モ營業

者ガ營業上ノ申告ガ不相當デアツタナラバ、即チ稅法ノ二十一條ニ於テ「政府

ニ於テ營業者ノ申告ヲ不相當ト認メ資本金額又ハ建物賃借價格ヲ算定シタル

トキハ之ヲ營業者ニ通知スヘシ」トゴザイマス、斯ウゴザイマシタ以上ハ、

營業者ノ家宅搜索トカ、或ハ帳簿ヲ押收スルトカ、官吏自カラ屆書ヲ作ッテ、

留守番ノ者ニ強テ調印セシムルト云フコトハ、誠ニ違法モ甚シイモノト、私ハ斷

言シテ憚カラヌノデゴザイマス、近ク一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、東京ノ白

木屋ト申シマスルト、誰一人豪商ナルコトヲ知ラナイ人ハゴザイマセヌ、此

人ノ營業稅ハ一箇年幾ラト云フコトニナリマスルト、僅ニ四百五十圓デア

ト云フコトヲ承ッテ居リマス、福井縣福井市ノ松井文助ト云フ商人ハ、白木

屋トハ迫モ匹敵スル者デハゴザイマセヌガ、倍テ此人ノ營業稅ハ七百圓ニ上

ボル、倍テ其資本ト云フ者ハ誠ニ微々タルモノデゴザイマスレドモ、總

テハ卸ヲ小賣ト稅務官吏ガ認定ヲ致シマシタ結果デアルノデゴザイマス、又

金錢貸付業ノコトニ就キマシテ、稅法ノ第三條ニ「一定ノ店舖其他ニ營業場

ヲ設ケ貸付ノ業ヲ營ム者ヲ云フ」ト斯ウゴザイマスガ、店舖其他ニ營業場ヲ設

ケズ、平生懇親ノ人ノ依頼ニ應ジテ融通スルガ如キハ、最モ營業者ノ部類ニ

入ルベカラザルモノト私ハ信ジテ居ルノデゴザイマス、併シ福井市ノ稅務官

吏ハ、是等モ悉ク營業者ト看做シテ、非常ナル取調ヲ致シテ居ル、元來法律

ガ稅務官吏ヲ左右スルハ當然デゴザイマスガ、稅務官吏ガ法律ヲ左右スルト

云フコトハ、實ニ不可思議千萬デゴザイマス、併ナガラ戰後ノ經營ト致シ、マ

シテ、法律ノ範圍内ニ於テ正確ナル取調ヲスルコトハ、吾々モ至極同感デゴザリマスケレドモ、前段申述ベマシタ如ク、法律以外ノ取調ヲナスガタメニ、是デハ逆モ前途營業ノ目的ガ立タザイト云ツテ、所謂機業家デアリ、或ハ羽二重商デアル者ハ續々廢業ヲスル今日ハ勢デアル、諸君、近時福井縣ノ羽二重業ノ産額ノ實ニ生絲ニ亞ギ、大日本第二ノ重要物産ニ達シテ參リマス、昨年ノ統計ニ依ツテ見マスルト、海外諸國ヘ輸出ヲ致シマスル金額ハ、殆ド六百五十萬圓以上ニ上ツテ居リマス、斯ノ如キ著シキ物産ヲシテ、目下稅務官吏ガ法律以外ニ渉ル取調ヲナスガタメニ、ドシノノ廢業ヲ致ス者ガアツテハ、畢竟機業ノ發達ヲ妨グル結果ト相成ルデゴザイマセヌカ、誠ニ慨嘆ニ堪ヘマセヌカ次第デゴザイマス、故ニ私共等ハ此事實アルコトヲ確ニ承知致シテ居リマスルカラ、政府ニ對シテ斯ノ如キ稅務官ニ向ツテ特權ヲ與ヘタルモノデアルカ、若シ其權ヲ與ヘヌモノデアツタナラバ、如何ナル處置ヲ爲サントスルカト云フ、質問書ヲ政府ニ向ツテ提出致シタノデゴザイマスガ、政府ハ速ニ此質問ニ對シテ答辯アラシコトヲ希望致シマス

○磯部十藏君(九十七番) 過日吾々ハ山林行政ノ機關ヲ地方廳ニ置クノ建議案、斯ウ云フモノヲ提出ヲ致シテ居ル、然ルニ其際此文案ノ末尾ニ當リマシテ「國家ノ自衛ニ適セサル林野ヲ民有ニ歸セシムルコト」ト云フ一言ガアル、此事ニ就イテ少シクドウデアラウカト云フ御意見ガ湯本君ヨリ出マシタ、小西君ヨリハ聊カ題號ニ修正ヲ致シタラドウデアラウト云フ御説ガ出タデ更ニ一般御異議ハナイコトデアツテ

○磯部十藏君(九十七番) 磯部君ニチヨット申シマスガ、此案ハ委員ニ付託セラレテアル案デハゴザリマセヌカ
○磯部十藏君(九十七番) サウデゴザリマス、ウレデ委員會ノコトヲ述ベマス
○議長(鳩山和夫君) 委員會ノ何デゴザリマスカ
○磯部十藏君(九十七番) 委員會ハ此事ヲ結了ニナツタ鹽梅デゴザイマス
○議長(鳩山和夫君) ウレデハ委員會ノ報告ガアツタトキニ御述ベニナツタヲ如何デゴザイマス

○磯部十藏君(九十七番) イヤノ、其報告ヲ請求スルノデゴザリマス
○議長(鳩山和夫君) ウレデハ期限ヲ定メテ委員ニ報告セヨト云フノデスカ、其動議ナラバ宜シウゴザリマス
○磯部十藏君(九十七番) スノ次第デゴザリマシテ、此建議案ノ大體ニ就イテ林區制ヲ改良スル、斯ウ云フ場合ニ於テ御反對ノ諸君ハ一人モナカッタヤウニ考ヘル、デ、斯ウ云フ場合デ委員ニ付託ニナリマシメガ、其後委員會ノ模様ヲ承リマスレバ、ドウモ委員ガ皆御猶ヒニナラヌコトガ多イサウデゴザリマス、故ニ今日マデ何モ結了ガ出来ヌサウデゴザリマスガ、最早議事モ會期切迫ノ際デゴザリマスカラ、是ヲドウカ議長ヨリ此會議ニ報告ニナリマスルヤウニ、委員長ニ御請求ヲ願ヒタイ

○議長(鳩山和夫君) ウレデハ議長カラ委員長ニ早ク委員會ヲ結了セヨト云フコトヲ注意セヨト云フコトデゴザイマスカ
○磯部十藏君(九十七番) サウデスカ
○議長(鳩山和夫君) 宜シウゴザイマス、承知致シマシター——是ヨリ本日ノ日程ニ入りマス、日程第一砂防法案第二讀會

第一 砂防法案(政府提出)

第二讀會

○厚地政敏君(百五十八番) チヨット政府委員ニ尋ネマスガ、此砂防法案ハ
○議長(鳩山和夫君) 朗讀ヲ省略シテ全部議題ニ供シマス
○厚地政敏君(百五十八番) 是ハ河川法案ト相踳ツテ運用スルコト、思ヒマスガ、然ルニ此法案ニ於テハ、唯治水上砂防ノタメニ云々ト云フコトデアリマシテ、河川ノ外海岸砂防等ノコトニ關シテハ一モ規定スル所ガナイヤウニ見ラレル、シテ見ルト政府ニ於テハ、唯河川ノミニ土砂ガ流出スル、ソレヲ防グト云フコトニ止マツテ、其他ノコトニハ別ニ砂防法ハ設ケナイ、此法案中ニハ包含シテ居ナイト云フコトデアアルノデゴザイマセウカ、其點ヲチヨット伺ツテ置キタイ

(政府委員内務省土木局長工學博士古市公威君演壇ニ登ル)

○政府委員(古市公威君) 治水ノ目的ガアリサヘスレバ、強チ必シモ河川ニ限ルト云フ譯デアアリマセヌ、治水ノ目的ガナケレバナリマセヌノデスカ、例ヘバ水源ノ涵養ノ如キ、其事柄ガ直グニ河川ニ影響シナクトモ、水源ノ涵養ノタメニ要スル砂防、即チ治水上必要ナ砂防トシテ此法律ヲ適用スル積リデアザリマス、治水ノ目的サヘアレバ宜シイ

○岡田良一郎君(百六十番) 私モ政府委員ニ質問致シマス、此砂防法案第四條ニ「一定ノ行爲ヲ禁止若クハ制限スルコトヲ得」トゴザリマスガ、所謂一定ノ行爲ト言ヒマスルト、ドウ云フコトカ分リマセヌケレドモ、先ヅ岡山縣ノ、大層砂ガ流出ル、其水源ハドウカト言フト、砂鐵ヲ採ル、ソレニ依ツテ大層川ニ砂ヲ推出スカラ、ソレヲ制サナクテハナラヌト云フヤウナコトヲ聞キマスガ、其砂鐵ヲ採收スルト云フヤウナコトヲ禁止スル譯デアアルカ、之ヲ制限スルノ譯デゴザリマスガ、或ハ是ハ其山ヲ掘リ起スコトヲ禁止スルコトデアアルカ、民業ヲ禁止スルノ趣意デゴザリマスガ、是ヲ一ツ承リマス、マダ其外ニモゴザリマスガ、先ヅ其事ヲ……

○政府委員(古市公威君) 成ル程大キナ禁止制限ニナリマシタラ、鑛山採ニモ關係致シマス、又小サナコトニナリマス、下草ヲ採ルコトハナラヌト云フヤウナコトヲ制限スルコトモアルト思ヒマス、或ル極々行爲ヲ禁止若クハ制限スルト云フ考デゴザイマス
○岡田良一郎君(百六十番) 然ラバ砂鐵ヲ採ルコトモ禁止スル、斯ウ云フ譯デスカ

○政府委員(古市公威君) 左様、必要ト認メマシタ場合ニハ禁止モスル、或

ハ制限モスル……
 ○岡田良一郎君(百六十番) サウシマズレバ、鑛毒ノタメニ下流ノ人民ガ甚
 ダ困難ヲスル、斯様ナ場合ニ至ッテハ、矢張鑛山ノモ禁止スルコトガ出來ル
 ト云フコトニナリマスカ

○政府委員(古市公威君) ツレハ鑛業條例ニ關係シマスガ、治水ノ目的ヲ以
 テ砂防ノ必要ガアルト、内務大臣ガ或ル地域ヲ定メテ、其處ニ此地域ヲ定メ
 マスル、其場所ニ於テ此法律ノ精神、即チ治水上必要ト認メマシタ場合ニ制
 限ヲ加ヘル積デゴザイマス

○岡田良一郎君(百六十番) ツレデハ砂鑛ヲ採ルハ甚ダ治水上ニ害ガアル、然
 ルトキニハ砂鑛ヲ採ルコトヲ禁ズル、砂鑛ヲ採ルコトヲ禁シマシタ場合ニハ、
 其人民ハ迷惑ヲシマスガ、ツレガタメニハ何カ補助デモ與ヘルカ、補償ヲ與
 ヘルトカ云フコトモアリマスカ

○政府委員(古市公威君) 砂鑛ハ砂鑛採取法案ノ方デ相當ノ處分ガ出來ルコ
 ト、思ヒマス

○岡田良一郎君(百六十番) ツレデハ其次ニ第十三條デゴザリマスルガ、其
 二項ニ「本條ノ補助金ハ精算ノ上其ノ費用ノ三分二ヲ超過スルコトアルモ其
 ノ超過額ヲ還付セシメサルコトヲ得」斯ウ云フコトガゴザリマスガ、三分二ヲ
 超過シマシテモ超過額ヲ還付セヌトシマスレバ、三分ノ二半ヲ支給シナケレ
 バナラヌ、支給シタ場合デモ取ラヌ還付シナイト云フコトニナルト、此制限
 ナルモノハドノ位ニマデ至ルカト云フコトガ分リマセヌガ、無制限ニツレテ
 還付セシメザルコトガ出來ル譯デゴザリマスカ、又其次ニハ「災害ニ因リ必
 要ヲ生シタル砂防工事ニ要スル費用ハ本條ニ依ルノ限ニ在ラス」ト云フハ、ド
 ウ云フコトデアリマス、此二箇條ヲ……

○政府委員(古市公威君) 最初ニ御尋ノコトハ二項ノ「工費豫算ノ三分二ヲ
 超過スルコトヲ得」デゴザリマシテ、豫算デ補助ノ歩合ヲ極メマス、豫算
 ト云モモノガ、若シ其豫算ノ三分二デ補助額ヲ極メマスト實際施行上テ幾ラ
 カノ剩リガ生ズル、ソコデ決算ニ至ッテ三分二以上ニナルコトモアルカ知ラ
 スガ、ツレハ大キナ剩リガアリマシタトキニハ相當ノ處分デモシマスルガ、
 僅ナ剩リニ至ッテ三分二ヲ僅カ超過シタカシト云フテ、ツレテ一々還附サセ
 ルト云フ必要モナイト認メマシテ、斯ウ云フコトヲ爲シ得ルヤウニ規定シタ
 ノデアリマス、此事ニ就イテハ道路ノ補助ナドニ就イテ段々議論ガアツタコ
 トガアリマス、ソレハ豫算ノ三分一ヲ補助シマシタ其補助額シテ後トテ精算
 ヲシテ見マスルト、請負ノ結果カテ請負ガ案外落札値段ガ安カツタ、ツレ
 ガタメニ幾ラカノ金ガ剩リタ、其剩リタ處分ニ對シテ色々議論ガ出ル、其全
 部ヲ國ニ還セト云フ議論モアル、又一部分補助シメ割合ニ依ッテ國ニ還ス
 ガ宜シイト云フモノモアル、又當初カラサウ云フ目的デ剩リタモノ、ツレテ
 問ハヌ積リデアアルカラ還スニハ及バヌト云フ論モアル、斯ウ云フヤウナコト
 デ、是迄議論ノアツタコトデアリマス、ツレデ此法律デハ——河川法ニモア

リマスルガ、先ヅ明ニ三分ノ二ト云フノハ、豫算ノ方デ決算ニ至ルマデ其都
 合ヲ推シテ往クト云フ必要ハナイト云フコトヲ規定シテ置イタデアリマ
 ス、ツレカラ此末項ノ「災害ニ因リ必要ヲ生シタル」云々ト云フノハ、是
 ハ水害杯ノ時ノ補助デアリマス、水害ノ時ノ補助ハ、別ニ補助ノ歩合ト云フ
 モノヲ定メズニ、今日マデ其害ノ模様ヲ見テ、其性質ニ依ッテ補助ヲ與ヘテ
 來タノデアリマス、ツレテ故強テ其場合デモ三分ノ二ヲ推シテ往カウト云フベ
 キ其場合ハ、概シテ是ヨリ補助ノ歩合ガ善クナル、色々ナ工事ヲ通シテ勘定
 スルノデアリマスガ、通シテ勘定シテモ、其縣ガ資力ノナイ場合ニ於キマシ
 テハ、隨分澤山ナ金ヲ國カラ補助スルコトガ澤山アル、ツレテ各工事ノ工費
 ニ割當テ、見ルト、割合ガ三分ノ二ヨリ多クナルモノガ幾ラモアル、ツレテ
 其時ニハ三分ノ二ト云フ本文ニ當テズニ、補助シ得ルヤウニ致シタイト云フ
 考カラ、此末項ガ設ケテアリマス

○岡田良一郎君(百六十番) モウ一ツ第九條ノ「行政廳ハ砂防工事ノ請負ヲ
 ナスコトヲ得」トゴザイマスルガ、行政廳ニ於テハ、工事ノ請負等ヲシマ
 スルコトガ是迄アリマスルガ、アリマセヌカ

○政府委員(古市公威君) 請負ト云フ名ヲ附ケテハ、實ハ餘リ穩ナラヌカモ
 知レマセヌガ、所謂村請ノ工事デゴザイマス、勿論村ガ村ノ工事ヲスルニハ
 一向差支ナイ、地方稅デスベキ工事ヲ村ガスルト云フコトニ段々ナル、其幾
 ラデ之ヲ村ガ請ケテシマフ、或ハ請負ノ仕方ニ依ッテ往々弊ガアルカラ、ツ
 レテヤラセヌ積デゴザイマス

○岡田良一郎君(百六十番) ツレデハ村請ケト云フコトハ出來ヌ譯デゴザイ
 マスカ

○政府委員(古市公威君) サウデゴザイマス

○岡田良一郎君(百六十番) 行政廳ト云フト、縣廳ニマデモ係ル譯デスガ、府
 縣廳ニモ係ルヤウニモ見エマスルガ……

○政府委員(古市公威君) 府縣廳ニモ勿論係リマスガ、府縣廳ノ方ハ今マデ
 ハナイ、府縣廳請負ヲスルト云フト、中央ノ直轄工事カ何カデアリマスガ、
 ツンナコトハ今日ハナイ、府縣廳ガ府縣ノ工事ヲスルナラ構ヒマセヌガ、府
 縣廳ガ他ノ行政廳ノスベキ工事ヲスルノハ、先ヅ請負ト名ヲ附ケル、ツレテス
 ルコトハ出來ヌ……

○濱田儀一郎君(二百二十一番) 私ハ政府ニ希望ヲ表シマス、本回ノ議會モ
 既ニ今日ト三日ヲ餘スノミニ切迫シマシタコトデアリマスガ、此項政府
 ハ雨ノ降ル程議案ヲ發布セラレ、其議案ノ今日發布セラレルノハ、或ハ此
 頃調査ガ出來テ、急ク要スルタメニ速ニ協賛ヲ求メナケレバナラヌト云フノ
 ハ致方ハアリマセヌガ、疾ク調査ガ出來テ居ルモノ、即チ前内閣——伊藤内
 閣ノ時ニ出來テ居ッタモノスラ、今日發案セラレタヤウニ拙者ハ認メテ居リ
 マス、此手段ハ一ノ政略ニアツテ吾々ニ盲從セヨト云フ致方デアアルカ、如何
 デアリマスカ、ツンナ不都合ナコトヲシテハイキマセヌカラ、既往ハ答メマ

○濱田儀一郎君(二百二十一番) 既ニ今日ト三日ヲ餘スノミニ切迫シマシタコトデアリマスガ、此項政府
 ハ雨ノ降ル程議案ヲ發布セラレ、其議案ノ今日發布セラレルノハ、或ハ此
 頃調査ガ出來テ、急ク要スルタメニ速ニ協賛ヲ求メナケレバナラヌト云フノ
 ハ致方ハアリマセヌガ、疾ク調査ガ出來テ居ルモノ、即チ前内閣——伊藤内
 閣ノ時ニ出來テ居ッタモノスラ、今日發案セラレタヤウニ拙者ハ認メテ居リ
 マス、此手段ハ一ノ政略ニアツテ吾々ニ盲從セヨト云フ致方デアアルカ、如何
 デアリマスカ、ツンナ不都合ナコトヲシテハイキマセヌカラ、既往ハ答メマ

セヌガ、將來ハ屹度注意ヲ請ヒマス、此段希望致シマス

○章刈親明君(百四十四番) 政府委員デモ委員長デモ宜シウゴザイマスガ、チヨット御答ヲ煩シテ置クコトガゴザイマス、先ツ第一ニ此法律ハ、之ヲ北海道ニ施行スルト云フモノデアアルカ否ヤト云フコト、ソレカラ其次ハ少シ理窟ニナリマス、或ハ御答ナサル方ガ御出席ナイカモ知ラヌデスガ、免ニ角聽イテ置キマス、第三十七條ト二十八條ノコトデゴザイマス、第三十七條ノ第二項「前項保證金ハ他ノ債權ノ爲ニ差押フルコトヲ得ス」トゴザイマス、然ルニ第三十八條ノ第二項ニハ「前項ノ費用及過料ニ付キ行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有スルモノトス」トゴザイマス、ソコデ三十七條ノ第二項ニ依レバ、此保證金ト云フモノハ、如何ナル有力ナル債權者ト雖モ、差押ヘルコトハ出來ヌト云フコトニナツテ居ル、所ガ三十八條ノ第二項ニ依レバ、國稅ト云フモノハ先取特權ヲ有スルコトニナツテ居リマスカラ、此保證金ト云フモノハ、無論先取權ノタメニ取ラレルコトニナル、即チ先取權ガ確定スレバ稅ノ徵稅法ニ依ツテ取ラレルコトニナル、サウスレバ第三十七條ノ第二項ト云フモノハ、無用ナル保證ニ相成ルデアナイカト、斯様ニ思フノデアリマス、此理由ヲ第二ニ御問申シマス、ソレカラ第三、第四十四條デゴザイマス、第四十四條ニ於テ「第二十五條ニ依リ損害賠償ヲ請求スル私人若ハ公共團體ハ損害ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得」トゴザイマス、此三箇月ト云フコトハ、甚ダ其時間ト云フモノガ短カウゴザイマス、公共團體ナリ、若クハ一人ナリノ利益ヲ大ニ害スルヤウナ虞ガアルデアラウ、斯様ニ存ジマスガ、何故ニ此砂防法案ニ於テハ、此損害賠償ヲ民事裁判ニ訴フルニ、他ノ法律ト違ッテ、三箇月ト定メマシタカ、此三箇月ヲ承テ置キタイ

(政府委員内務省土木局長工學博士古市公威君演壇ニ登ル)

○政府委員(古市公威君) 北海道ニハ施行セヌ積デゴザイマス、是ハ矢張府、縣、郡、市、町、村ト云フヤウナモノガ其土臺ニナツテ居リマスルデ、ソレデ今日ニ於テ北海道ニハ施行セヌ積デアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノコトハ、ドウモ私ノ答デハ御不満足カモ知レナイケレドモ、無用デアナイト思フデス、此「前項保證金ハ他ノ債權ノ爲ニ差押フルコトヲ得ス」ト云フコトハ、行政廳デハ其前ノ所ニ「行政廳ニ於テ直チニ之ヲ其ノ納付ノ目的又ハ過料ニ充用スルコトヲ得」ト云フ規定ガアルニモ拘ラズ、何カ他ノ債權ガアツタメニ押ハラレテシマツタ、マダ此三十八條ノ場合マデニ至ラナイ時ニ押ハラレテハナラヌト云フ考カラ、此二項ハ必要ト思ヒマス、ソレカラ三箇月ト云フハ餘リ急デハナイカト、是ハドウモ幾ラカ意見ニ涉ルヤウデゴザイマスガ、本員ノ考デハ——政府ノ考デハ三箇月位宜カラウト云フ見込ニ過ギヌノデアリマス

○章刈親明君(百四十四番) 三十七條ノ保證金ノ如キハ、他ノ債權ノタメニ差押ハラレナイト云フコトニ、唯今ノ政府委員ノ御答デハナツテ居リマスガ、サリナガラサウナレバ第三十八條ノ三項ヲ御覽下サイ、第三十八條ノ第三項

ニハ、ドウ云フコトガアルカト申シマスルニ、例ヘバ保證金ノヤウナモノガ不足シマシタ時ニ、更ニ政府ハ府縣ニ金ヲ出サスルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、故ニ第三十七條ノ第二項ノ場合、即チ保證金ヲ他ノ債權ノタメニ差押ハラレタ時ハ、請負人ニ對シテ第三十八條ノ第二條ニ依ツテ更ニ保證金ヲ出サシメテソレデ宜イ譯ニナル、然ルニ其手續ヲスル餘裕アルニ拘ラズ、國稅ニ對シテハ、何時デモ先取特權ヲ許サレテ居ル其金ニ對シテ、サウシテ此金ヲ差押ヘルコトガ出來ナイト云フヤウナ法條ヲ拵ヘルノハ、法律ガ其法律ヲ爲サナイコトニナリハセヌカ、古市君ハ或ハ斯ウ云フコトニ就イテハ御經驗ガナイカ知ラヌガ、幸三崎君ガ御出デニナリマシタカラ、三崎君カラ御答ニナツタラ宜カラウ

○中山丹治郎君(二十一番) 質問ガ終ッテカラデゴザイマセヌケレバ、勸議ヲ提出シテ惡ルウゴザイマスカ

○議長(鳩山和夫君) 質問ガ濟ンダ後ノ方ガ宜カラウト考ヘマス

○政府委員(三崎龜之助君) 御答申シマス

○章刈親明君(百四十四番) 足ガアルナラ演壇ヘ御出デナサイ

(笑聲起ル)

(政府委員内務省縣治局長三崎龜之助君演壇ニ登ル)

○政府委員(三崎龜之助君) 三十七條第二項ガ無用デアルト云フ御尋ノヤウデスガ、一應ハ御尤デゴザイマス、所ガ三十八條ノ第二項ハ、イヅレモ過料ト申シマシテモ、行政處分ノ過料デゴザイマス、其外ノモソレデアリマスガ、倍テ國稅滯納處分ニナリマスルト、何時デモ此國稅ニ對シテハ先取特權ガアルノデゴザイマス、ソレノ其取除ヲシタノデゴザイマスルカラ、此三十八條ハ、ソレデ三十八條ノ第二項ト云フモノハ、國稅ニ對シテノ優劣ハドツチニアルカト云ヘバ、矢張本條ニ規定スル如ク、國稅ヨリモウ一ツ先取特權ヲヤル、斯ウ云フノガ國稅徵收法ニ對シテノ取除ケ、而シテ三十七條ノ方ハ普通ノ場合ヲ規定シタノデ、或ハ普通法ニ依リマスルト、差押ヘルコトガ出來ルカモ分ラヌト云フ疑ヲ生ジマスルカラ、ソレデ是モ取除ケヲシテ、雙方相待ツテ最上等ノ部ニ置イタノデゴザイマス

○厚地政敏君(百五十六番) 本員ハ此第一條ニ於テ動議ヲ提出シタイ、即チ「此法律ニ於テ砂防設備ト稱スルハ主務大臣ノ指定シタル土地ニ於テ治水上砂防ノ爲ニ云々」ト書イテアリマス、此「治水上」ト云フ文字ヲ「國土保安上」ト云フ文字ニ改メタイ、此法律ハ、河川ニ所謂山嶽ガ崩レテ、其土砂ガ流出スルガタメニ河川ガ惡ルクナル、ソレ故ニ其河川ト相隣テ砂防セナケレバナラヌト云フコトデアラウト思フノデス、然ルニ此砂防工事ト云フモノハ、唯獨リ河川ノミニ止マラナイモノデアツテ、海岸ノ砂防ノ如キモ或ハ田畑ヲ潰シ、殆ド家屋ヲ埋没スルト云フヤウナコトモアルデアラウト思フ、現ニ又ソレハアルト云フコトヲ知ツテ居ル、シテ見レバ折角砂防法ト云フモノヲ拵ヘタ以上ハ、獨リ河川ノ砂防ノミニ止マラズシテ、其他ノ砂防ト云フモノヲ拵ヘタナラヌ

コトデアラウ、ソレガ必要デアラウト思フ、ソレ故ニ治水上下シテ置ケバ、
 河川ノモニ止マルヤウニアルカラ、國土保安上下シテ置ケト、斯ウ云フコト
 モ含有シテ來ル、故ニ海岸等ノ砂防工事ヲモ爲スヤウナ運用ヲサセタイト云
 フ、私ガ動議ヲ提出シテ趣意デアアル、而シテ此第一條ノ治水上下云フ文句ガ、
 私ノ修正意見ノ通可決スルトキハ、二條、三條、四條ノ治水上下云フ文句モ、
 從テ今申ス通ノ文字ニ改メネバナラヌコトデアラウ、併テ此事ヲ申シテ置
 キマス

○議長(鳩山和夫君) 中山君、アナタノハ修正動議デスカ

○中山丹治郎君(二十一番) 私ノハ修正デゴザイマセヌ、削除デゴザイマス、
 第九條、第二十五條

○議長(鳩山和夫君) ソレデハ採決スルトキニ分ケテ採決シマスカラ、其處
 へ往ッテカラ提出ヲ願ヒタイ

○中山丹治郎君(二十一番) 分ケテ議事ニ御付シニナッタルデゴザイマス
 カ

○議長(鳩山和夫君) 今ハ全部議題ニナッテ居リマスケレドモ、錯雜スルト
 イケマセヌカラ、採決スルトキニハ別々ニ採決シヤウト思ヒマス

○中山丹治郎君(二十一番) ソレデモ宜シウゴザイマスガ、其前ニ……

○議長(鳩山和夫君) 九條ノ所へ往ッタルアナタノ名ヲ呼ボコトニ致シマス

○中山丹治郎君(二十一番) 全部通シテ御討論ニナッテ居ルノデゴザイマス
 カ

○議長(鳩山和夫君) サウデゴザイマス

○中山丹治郎君(二十一番) サウシマスルト、私ノ削除シマスル理由ヲ申シ
 マセヌケレバ分ルマイト思ヒマス、第九條、第二十五條、第四十一條、第四

十四條トヲ削除スルト云フ動議ヲ提出致シマス

○議長(鳩山和夫君) ドウゾモウ一遍願ヒマス

○中山丹治郎君(二十一番) 第九條、第二十五條、第四十一條、第四十四條、
 之ヲ削除スルト云フ議ヲ提出致シマスル理由ヲ、聊茲ニ述ベヤウト存ジマス

ル、第九條ハ「行政廳ハ砂防工事ノ請負ヲナスコトヲ得ス」ト云フ禁令法ガ
 設ケテゴザイマスルガ、行政廳ト云フモノハ、元來請負工事ト云フモノヲ爲

スベキ職權ガナイノデゴザイマス、此法又ヲ茲ニ禁令法ヲ揭グルト致シマス
 レバ、普通ニ於テアルガ如ク行態ヲナシテ居リマスルケレドモ、行政廳ト云

フモノハ、此工事業上ニ就イテ請負ヲナスト云フ職權ノナイコトハ、是ハ
 政治上ニ於テ明ニ區域ノアルコトデゴザイマス、然ルヲ獨リ此法案ガ行政廳

ハ砂防工事ノ請負ヲ爲スコトヲ得ズト云フ禁令ヲ設ケルト、必要ノナイモノ
 ヲ茲ニ掲ゲル、斯ウ云フコトニ相成リマス、先刻政府委員ノ御説明ヲ承リ

マスレバ、或ハ町村ニ請負ヲ爲ス慣例ガアルガ如キコトヲ以テ御答ニナリマ
 シタケレドモ、是等ハドモ町村ノ法人ガ請負ヲシタト云フ慣例ハ、未ダ餘リ

聽キマセヌ、又爲スベキ權限ト云フモノモ餘リナイデアラウト考ヘマス、

故ニ之ヲ削除スルト云フ動議ヲ提出致シマス、ソレカラ第二十五條デゴザイ
 マス、第二十五條ニハドウ云フコトガ書イテアルカト申シマスルト「法律命
 令若ハ許可認可ノ條件ニ違背シタル工事設備若ハ工作物ノ管理ニ因リ損害ヲ
 受ケシメタル者ハ其ノ損害ヲ賠償スヘシ」ト云フコトガ書イテゴザイマス、
 是ハ無論不法ノ行為ニ依ッテ生シタル損害ハ、賠償ノ責任アルコトヲ規定サレ
 タノデゴザイマスガ、斯ノ如キコト、云フモノハ、民法上明カニ大法官ニ於
 テ規定ガアル、茲ニ何モ行政處分ニ依ッテ賠償權限ト違フノデゴザイマス、
 ソレハ命令法律ニ背イタ事柄ヲシタモノハ、其損害ヲ受ケタル者ニ對シテ、
 損害賠償ノ責任ガアルゾト云フコトヲ法文ニ示シマセヌデモ、民法ノ七百九
 條等ニハ、明ニ明記セラレテ極ツテ居ルコトデゴザイマス、他ノ法律ニ明記
 ガゴザイマセヌデモ、是ハ自然ノ間ニ他人ニ對シテ不法行為ガゴザイマスレ
 バ、公然民事ニ訴ヘテ損害賠償ヲスル權利ガ各自ニアルデゴザイマス、斯ノ
 如キコトハ茲ニ殊更ニ書クノ必要ハナイ、ソレ故ニ此條ハ削除スルト云フコ
 トヲ主張致シマスノデゴザイマス、ソレカラ第四十一條デゴザイマス、四十
 一條ヲ見マスルト「此ノ法律ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シテハ命令ヲ以テ
 貳百圓以内ノ罰金若ハ一年以下ノ禁錮ノ罰則ヲ設クルコトヲ得」ト云フコト
 ガ書イテゴザイマス、是ハドウモ私共命令ヲ以テ斯ノ如キ犯罪、犯則行為ヲ、
 體刑ヲ、一年以上ノ禁錮ニ處スルコトヲ命令ヲ以テ許スト云フコトハ、甚ダ危
 險千萬ノコトデアラウト考ヘマス、一般行為ヲ規定セラレテ、ドノ行為ニ就
 イテハ一年以上ノ刑ニ處スルト云フ範圍若クハ其行為ヲ定メテ、一般ノ畫一
 ノ法律デナイ獨立ノ命令デ、唯一事一物ニ就イテ行政官廳ガ其場合ニ於テ此
 重大ナル刑事ノ主權ノアル所ヲ行政廳ニ付與スルトニ相成リマスカラシ
 テ、斯ノ如キモノヲ行政廳ニ付與スベキモノデナイト信ジマスルガ故ニ、此
 四十一條ヲ削ルト云フ動議ヲ提出致シマス、ソレカラ第四十四條デゴザイマ
 ス、四十四條ニハ二十五條ノ損害賠償ヲ訴ヘル、所謂時効ト云フモノヲ定メ
 ラレテゴザイマス、其時効ハ三箇月デアアル、先刻草刈君ガ御質問ニナッタル
 ウデゴザイマス、法律ノ上ニ於キマシテ行政裁判所ニ訴ヘルトカ何トカ云フ
 コトヲ、獨立單行法律ニ於テ此時効ヲ極メルノハ宜シウゴザイマスケレドモ、
 此二十五條ト云フノハ其民事上ノコトニ止ッタノデ、決シテ行政處分ニ對ス
 ル損害デハナイ、然ルヲ此處ニ三箇月ト云フ短期ノ時効ヲ定メラレタト云フ
 コトハ、所謂此民事——民法ノ規定ニ背イテ居ル、マサシク背イテ居ルコト
 デゴザイマス、ソレハ民事、民法ニ定メル所ニ依リマスルト云フト、此損害
 賠償ニ就イテ時効ハ、加害者ガ知レテカラ三箇年、知レナイトキハ二十
 箇年ノ訴權ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ明ニ規定サレテ居ル、ソレヲ此法律ガ
 行政處分デモ何デモナイ違法處分ニ出デタ損害賠償ヲ、三箇月デ其訴權ヲ奪
 フト云フコトヲ規定スルノハ、マルデ間違ッタ話デ、法律ヲメチヤクチヤ
 ニ蹂躪シタ法律ト私ハ考ヘマスカラ、ソレ故ニ此第四十四條ノ第一項、第二
 項ハ是ハ行政處分ノ事柄ニ屬シマスカラシテ、是ハ宜シウゴザイマス、ソレカ

ラ其但書ハチヨット是ハ先刻洩レマシタカラ、但書ノ「此ノ場合ニ於テハ前項ノ期間ハ確定ノ日ヨリ起算スルモノトス」此三箇月ノ起算法ヲ此處ニ置カレマシタケレドモ、自然第一項ガ削除ニナリマスレバ、此但書モ無用ノ文ニナリマスカラシテ、他ノ法律ト大イニ抵觸スル場合ガゴザイマスル故ニ、削除説ヲ此處ニ提出致シマス

〔賛成々々〕又ハ「採決」ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 採決シマス、砂防法第一章總則、此處マデハ御異議ハナイト考ヘマス

○草刈親明君(百四十四番) 皆シナデスカ、決ヲ御採リニナリマスカ

○議長(鳩山和夫君) サウデス

○草刈親明君(百四十四番) ソレデハ一言述べマス、先刻政府委員ニ御問ヲ致シマシタ三十七條ノ第二項ト三十八條ノ第五項トノコトデアリマス、三十七條ノ第二項ヲ削除スルコト云フ動議ヲ起シマス、デ、此議案ハ昨年決議ニナリマシタ河川法ト附帶シテ居ルノデゴザリマシテ、或人ノ説ニ依レバ、一字一句ト雖モ訂正スレバ河川法ノ方ニ衝突ヲ來スカラ、一字一句モ訂正シナイ、デ、此儘通過シテ貰ヒタイト云フ御希望ガアル、サウデゴザリマスノ

モナラズ、治水會ト云フモノガアリマシテ、唯二錢ノ印紙ヲ貼ッテ三百ノ議員ニ贊成ヲ求メテ居リマスカラ、或ハ私共ノ意見ハ成立タナイト思ヒマスケレドモ、不法ハ飽マデモ不法ア、惡ルイコトハ飽マデモ矯メナケレバナラヌカラ動議ヲ起シマス、抑、内務省ハ御人物猶ダト云フコトデ、殊ニ三崎君ノ

如キ法律家ガ居リマスカラ、完全ナル法律ダト思ヒマスガ、先刻質問致シマス、此三十七條ノ第二項ノ如キハ、全ク無用ノ法條デゴザイマス、寧ろ無用ト云フヨリモ、既成ノ法律ニ相反シテ居ル法案デアアル、斯様ニ斷言シテ宜カラウト思フデアリマス、三崎君ハ利口ニ御答辯ニナリマシタケレドモ、其

利口ハ一ツモ効能ノナイコトデ、議員ヲ瞞著スルニ過ギナイ、今三十七條ノ第二項ヲ見マスルニ、保證金ト云フモノハ他ノ債權ノタメニ差押フルコトハ出來ナイトゴザイマス、絶對的ニ此保證金ト云フモノハ他ノ債權ノタメニ少シ

モ差押ヘルコト出來ナイト云フ禁止法デアアル、故ニ他ノ債權ノタメニ差押ヘルコトガ出來ナイト云フコトヲ維持スルニ宜シキ法律デアレバ、ソレデ宜シイ、所ガ先刻私ガ申シマシタ通、第二十八條ノ第二項ニ依レバドウシテモ

サウハ往カナイ、例ハバ滞納處分ニ依ッテ過料金ナリ、其他ノ費用ヲ行政廳ガ徴收スル、其場合ニハ此保證金ニ就イテドウ云フコトヲスルカト言ヘバ、滞納處分ノ規定ニ據ッテ差押ヘンケレバナラヌ、差押ヘンケレバ徴收スルコトハ出來ナイ、滞納處分ニ附シテ其金ヲ取ルコトハ出來ナイ、行政處分ニ依ッ

テ過料金等ヲ取立テテト云フ場合ハ、必ズ差押ヘルコト云フ現行法ガアル、然ルニ此法律ニ依ッテ見レバ、現行法律ガアルニ拘ラズ、差押ヘルコトハ出來ナイ、而シテ出來ナイト云ッテ三十八條デ、此國稅ニ次ギ第一ノ債權トシ

テ差押ヘルコトガ出來ルト云フノハ、既成ノ法律ニ背クノミナラズ、此法律ガ三十七條ト三十八條トノ間ニ於テ互ニ衝突シテ居ル、法律家ヲ以テ組織シテ居ル所ノ法制局ナドモ、斯ウ云フコトニ御注意ノアルベキコトニ思ッテ

居リマスガ、去年ノ河川法ニ異議ガナイノデアアルカラ、此法律ニモ異議ガナイダラウト云フノデアアルカ、要スルニ前來三十七條ノ第二項ト三十八條ノ第二項ハ全然兩立シナイ法律ニナッテ居ル、サウシテ此法律ハ既成ノ法律ニ背クコトデアルト云フコトガ明カデアリマスレバ、縱令治水會カラ如何ナル御注意ガアラウトモ、此原案ヲ通過サセルコトハ出來ナイト思ヒマス、斯様ニ申シマスレバ保證金ヲ取立テラレ——差押ヘラレテサウシテ保證金ノナクナッテ場

合ハドウスルカ、サウスレバ折角保證金ヲ上納セシメテ置イタ効能ハナイダラウト云フノデアアルガ、其場合ニハ先刻質問シマシタ第三十八條ノ第三項ニ依ッテ豫算ヲ提出シテ、全部ナクナリマスレバ全部ノ保證金ヲ上納セシメテソレデ宜イ、其上納ヲサナイトキニハ、此請負ヲ解除シテ宜シイ、斯ノ如ク立派ナル道筋ガ立ッテ居ルノニ、ソレニ此不法ナル法律ヲ存シテ置カナケレバナラヌト云フノハ、抑、分ラヌコトデ、從ッテ三崎君ノ如キ法律家ガ喋々スルノハ瞞著スルト、斯様私ハ信ジマス

○議長(鳩山和夫君) 第一條ニ就テハ厚地君カラ修正ガ出テ居リマスガ、制規ノ贊成ガゴザイマセヌカラ採決致シマセヌ、第一條ヨリ第八條マデ、同時ニ採決致シマス、是ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 第一條及第八條マデハ、原案通決シタモノト認メマス、第九條ハ、中山君カラ削除説ガ出テ居リマスカラ、先ヅ原案ニ就イテ決ヲ採リマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、第十條ヨリ、二十四條マデ、同時ニ採決致シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナイヤウデスカラ、原案ニ決シタモノト認メマス、次ニ第二十五條、是ハ削除説ガ出テ居リマスカラ、原案ニ就イテ採決致シマス——原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、原案ニ決シマス、次ニ第二十六條ヨリ第三十八條一項マデ、通ジテ採決シヤウト考ヘマス——草刈君ノ削除説ハ三十八條ノ二項デスカ

○草刈親明君(百四十四番) 三十七條ノ二項デス

○議長(鳩山和夫君) ソレデハ、三十六條マデ、通ジテ採決致シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナイヤウデゴザイマスカラ、原案ニ決シタモノト認メマス、次ニ第三十七條一項ハ、原案ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 原案通り決シマス、次ニ第二項「前項保證金ハ他ノ債權ノ爲ニ差押フルコトヲ得ス」是ニハ削除説ガ出テ居リマスカラ、先ヅ原案ニ就イテ採決致シマス——原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、第三十八條ヨリ第四十條マデ、通シテ採決致シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナイヤウデスカラ、原案ニ決シマス、次ニ第四十一條、是ハ削除説ガ出テ居リマスカラ、原案ニ就イテ採決致シマス——原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、次ニ第五章訴願及訴訟、第四十二條、第四十三條ヲ同時ニ採決致シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 原案ニ決シマス、次ニ第四十四條第一項ニ就イテハ、削除説ガ出テ居リマス、即チ第一項ノ原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス——中山君ノ但書ヲ削ルト云フノガ出テ居リマスガ……

○中山丹治郎君(二十一番) モウ宜シウゴザリマス

○議長(鳩山和夫君) ツレデハ、別ニ採決致シマセヌ、第四十四條ノ二項以下四十八條マデ、通シテ採決致シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 原案ニ御異議ガナイモノト認メマス、是デニ讀會ハ終リマシタ

○吉本榮吉君(二百五十八番) 此議案ニ就イテハ、最早日限モアリマセヌカラ、否決ナリ、可決ナリ進行スル方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ望ム

○議長(鳩山和夫君) 直チニ三讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 直チニ三讀會ヲ開キマス

砂防法案(政府提出)

第三讀會

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕直チニ確定ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナイヤウデゴザイマスカラ、確定シタモノト認メマス——次ニ日程第二、北海道國有未開地處分法案

第二 北海道國有未開地處分法案(政府提出貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔谷河尙忠君演壇ニ登ル〕

○谷河尙忠君(三十三番) 此案ニ對シマシテハ、委員會ハ何分ニモ北海道ノ未開地開墾ニ就イテハ、開墾者ノ便利ヲモ與ヘ、又獎勵ヲモ兼ネテ、此法案ヲ決スルコトニ見込ヲ立テマシタ、所ガ貴族院ノ修正ハ、第三條ニ對シテ開墾全部成功ノ後、坪一圓ノ割ヲ以テ賣拂フト云フコト、又三方坪以下ノ貸付ハ、無償ニテ付與スルト云フ項ニ就キマシテ、既ニ制限ヲ解イテ、全部成功ノ後ハ、無償ニテ付與スルト云フコトニ貴族院ガ修正致シマシタ、是ハ大ニ委員會ニ於テ宜シイト云フコトニ認メマシタ、其他第九條ノ無償貸付年限、或ハ此年限ヲ延ベヤウカ、或ハ詰メル方ガ宜イト云フヤウナ意見モアリマシタガ、其他ハ此貴族院ノ修正ニ同意ヲ表シマシテ、大多數ヲ以テ、貴族院ノ修正通可決致シマシタ、尤モ此政府案ノ外ニ、貴族院ガ第十九條ト云フモノヲ設ケマシタ、第十條及十二條ノ處分ニ對スル、或ハ行政官ノ不當ナル處分ノアル節ニ、訴願ヲスベキ途ヲ拵ヘマシタ、是モ委員會ガ成程貴族院ノ修正ガ宜イト云フノデ、總テ此議案ニ對シテハ、貴族院ノ修正ヲ可ト致シマシタ、就イテハ本院ニ於テモ、委員會ノ可決ヲ御承認ニナツテ、必ズ御贊成アラシコトヲ希望致シマス、且直チニ三讀會ヲ開カレ、且ツ讀會ヲ省略シテ、速ニ可決アラシコトヲ併テ希望致シマス

○議長(鳩山和夫君) 讀會省略ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 即チ讀會ハ省略サレマシタ、朗讀ヲ省略シテ、全部議題ニ供シマス

北海道國有未開地處分法案(政府提出貴族院送付)

確定議

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 採決シヤウト考ヘマス、貴族院送付ノ通可決シタモノト認メテ宜シウゴザリマスカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 其通決シマシタ、本案ハ是デ確定致シマシタ——次ハ日程第三、罹災救助基金法案

第三 罹災救助基金法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔大竹貫一君演壇ニ登ル〕

○大竹貫一君(七十四番) 諸君、此御付託ニナリマシタ所ノ罹災救助基金法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告ニ及ビマスル、私共先月二十五日ニ於テ議長ヨリ指名ニナリマシテ、翌二十六日ニ於テ委員長、理事ノ互選ヲ致シマシタル所ガ、委員長ニハ不肖、理事ニハ野口駿君ガ當選ニナリマシタ、而シテ三月二日及三月六日ノ兩度ニ此法案ニ就キマシテノ質疑會ヲ開キマシタ、質

疑會ヲ開キマシタ所ガ、大イニ疑ガ澤山ニ生ジマシテ、尙ホ熟考ノ餘日ヲ設ケテ、三月ノ十四日ニ三度質疑會ヲ開イテ、政府委員ニ對シテ段々質問ヲ致シ、攻究ヲ致シマシタ所ガ、到底該法案ハ實施シ得ラレザル所ノモノナリト云フ委員ノ意見デアリマシタ、所ガ委員會ハ此意見ヲ政府モ多少考ヘル所ガアルカラ、少シク該委員會ヲ延ベテ吳レマシヤウニト云フコトデアリマシカ、三月十九日マデ委員會ヲ延ベマシタ、三月十九日ニ政府ヨリシテ從前ノ案ヲ修正シテ出サレマシタカラ、委員會ハ此但書ノ修正ヲ加ヘマシテ、遂ニ本案ヲ可決致シマシタ譯デアリマス、申上ゲマスルマデモナク罹災救助基金法案ナルモノハ、現行法ノ備荒儲蓄法ノ相續人ニナリマスノデアリマス、備荒儲蓄法ト云フモノハ、明治十三年ニ發布ニナツタノデアリマシテ、即チ其趣意ヲ申シマスレバ、地方ヨリ百二十万圓ヲ支出シテ、其中三十万圓ハ中央ニ儲蓄ヲ致シテ、残り九十万圓ヲ地方ニ配付シテ、各地方ニ於テハ此九十万圓ト同額ナルモノヲ儲蓄シテ、爾來數年之ヲ行フコトニナリマシタ、然ルニ明治十三年本案備荒儲蓄ガ發布ニナリマシテ以來、幸ニ天災モ少ナイノデ、將來永ク年々備荒儲蓄ヲスルノ必要ヲ見ナイト云フノデ、二十三年ニ至ツテ儲蓄ノ必要ガナイカラト云フノデ、先ヅ是丈デ、支辨シ得ルモノデアルト致シテ、箇條ニ於テ修正ヲ致シマシテ、尙ホ續ケテ十年、即チ來ル三十三年マデニ此法案ヲ施行スルコトニナリマシタ、然ルニ不幸ニモ二十三年以來ト云フモノハ、年々歳々全國ニ災害ガ起ツテ、中央儲蓄金ト云フモノモ、二十九年ニハ之ヲ洗出スヤウナコトニナリマシテ、昨年ハ百二十万圓シカナクナツタノデアリマス、然ルニ昨年ハ不幸ニモ全國ニ續々ト大災害ガ起ツテ、到底中央儲蓄金ノミデハイカヌコトニナリマシテ、先日モ諸君ガ御承知ノ通、九十万圓ト云フ政府ガ追加案ヲ發シマシテ、備荒儲蓄ヲ拂出シタト云フ始末デアリマス、然ラバ此現行ノ備荒儲蓄法ガアツテモ、既ニ皆拂ニナツタ以上ハ、中央ニ此備荒儲蓄ヲ請求ヲ致シテモ、此請求ニ應ズルコトハ出來ヌノデアリマス、是ヲ以テ政府ハ今日ヲ機ト致シマシテ、本案ノ改正ヲシヤウト云フノデアリマス、尙ホ又改正ノ必要ニ就イテハ御承知デアリマス通り、元來備荒儲蓄ナルモノハ、其土地ニ關係シタル災害ヲ救助スルノ法案デアツテ、水害風害ト云フガ如キコトガ重モデアツタノデアリマス、然ルニ今日デア見マスルト、海嘯トカ震災トカ云フ如キコトガ加ツテ居ルカラ、備荒儲蓄ノ全體ノ性質ニ當テラヌモノデアリカラ、是デハ逆モ救切レヌノデアリマス、故ニ本案デハ第八條ニ於テ被服費トカ、治療費トカ、或ハ小屋掛費デアルトカ、就業補助費デアルトカ云フ種目ヲ設ケタノデアリマス、何トナレバ是ハ震災ニ當テ人ニ負傷ガアツテモ、前ノ法デハ之ヲ手當スルコトモ出來ズ、又海嘯ガアツテモ難破船ガアツテモ、之ニ船ヲ造ツテ與ヘタクテモ、網ヲ與ヘタクテモ遣ルコトハ出來ヌノデアリマス、又寒イ時分ニ於キマシテ著物ヲ與ヘタクテ思ヒマシテモ、前ノ備荒儲蓄法デハ遣ルコトハ出來ヌノデアリマス、故ニ今日中央儲蓄金ノナイノヲ幸ニシテ、此海嘯ヤ震災ニ於ケルコトモ當後マルヤ

ウニシマシタ、又三十三年マデニ盡キルモノデアアルガ、此期モ長クシナケレバナラス、又一ツニハ今日ノ目的ハ地方ニ於テ、各府縣ニ於テ儲蓄金ノ百分ノ五ヲ支出シタモノハ、其不足シタル分ハ中央備荒儲蓄カラ取ツテ往ツタノデアアルガ、斯ノ如ク際限ナク地方ニ持ツテ往キマシテハ、中央デハ逆モ支出シキレヌノデアリマス、故ニ此際ニ於キマシテハ地方ニ儲蓄ノ法ヲ設ケテ、年々三十万圓ツツ中央カラ支出スル、サウシテ地方ノ府縣ニ於テハ、毎年罹災救助基金ニ繰入レタル金額ニ割合ツテ積シテ往クト云フ法案デアアルデアリマス、尙ホ簡單ニ約メテ申シマスレバ、此改正ノ必要ハ第五條、第六條、第七條、第八條ガ殆ド改正ノ要旨ニナツテ居ルノデアリマス、先刻モ申シマシタ通、政府ガ備荒儲蓄ニ代ル所ノ相續法トシテ本案ヲ發布シタト云フモノハ、中央ニ於テハ將來此法案ハ地方ノ備荒儲蓄ノ方法ヲシテ基礎ヲ十分ニ立テタイ、地方ニ於テハ其基礎ノ立ツ間ハ、政府ニ於テハ年々三十万圓ツツ支出シマシテ、地方デハ何程カツツ積ム、其積ミマス程度ト云フモノハ、明治二十年ヨリ二十九年ニ至リマス所ノ十箇年間ニ於テ、各府縣ニテ備荒儲蓄ノ災害ノタメニ支出シタ、其十箇年ノ平均ヲ通シタルモノ、二十倍、即チ百分ノ五ノ率額ヲ生出スマデノモノニシタイ、ツレ丈ニ違スル方法ヲ設ケタイト云フノガ、政府ノ趣意デアリマス、一方ニハ斯ノ如ク各府縣ノ支出金額ノ二十倍マデノ儲蓄金ニ制限ヲ設ケマスニハ、ツレニハ或ハ地方モ困難スルダラウカラ、政府ハ年々三十万圓ツツ支出スル、サウシテ又各府縣ニ於テハ三十万圓ヲ分配スルニモ、少ナク積ム所ノモノハ少ク受ケ、多ク積ムモノハ多ク受ケルト云フ法案デアアルノデ、斯ウ云フ具合ニ成立ツテ居リマス、又第八條、第七條ハ從前ニ於テハ此災害ノ救助ノタメ支出スルニ就イテハ、己ノ府縣ニ就イテノ百分ノ五ヲ出シタ以上ハ、何程デモ中央カラ持ツテ來タノデアリマスケレドモ、然ルニ今度ハ是ヲ制限シテ、不足ノ二分ノ一ハ政府ガ出スガ、其残り三分ノ二ト云フモノハ殘ラズ地方自身デ出サナケレバナラヌト云フ法律デアリマス、是ハ從前ヨリ見マスト餘程變ツタモノデアリマス、此條項ニ於テ委員會ト政府トハ意見ヲ異ニシマシタノデ、第六條ノ如クニシテモ地方デハ逆モ積切レヌ、何トナレバ年々歳々地方ニ於テハ其支出ガ仕切レヌノニ、僅ニ三分ノ一シカ補助シテ呉レヌノミナラズ、其上ニ尙ホ儲蓄金ヲシテ往カナケレバナラヌカラ、是ハ實ニ困難ノコトデアアル、例ヘバ例ヲ岐阜縣ニ取テ見マスルト、岐阜縣ニ於テハ明治二十年度ヨリ二十九年ニ至ル所ノ此十箇年ノ間ニ、地方費ニ於テ支出シタノガ平均スルト、實ニ十六万二千圓デアリマス、若シ此十六万二千圓ガ年々ニ要スルモノトスレバ、是ノ二十倍トシテ三百二十万圓ヲ積マナケレバナラヌ、サモナケレバ岐阜縣ハ此利息ヲ以テ災害ニ當テルコトハ出來ヌノデアリマス、三百二十万圓ヲ要スル此岐阜縣ニ於テ、現在何程アルカト言ヘバ、五十万圓シカナイノデアリマス、然ラバ岐阜縣ニ於テハ現ニ二百七十万圓ト云フ大金ヲ積マナケレバナラヌノデアリマス、此二百七十餘万圓ト云フモノヲ二十箇年ニ積ミマスレバ、一年ニ十三万

七千圓ヲ積ムノ方法デアアル、獨リ十三万七千圓ナラバ宜シイガ、年々起ル災害ヲモ尙ホ是デ始末シナケレバナラヌ、但シ一箇年ニ積ム十三万七千圓ノ中、政府ヨリ三十万圓ノ配付金割當リガアルカラ、此半分ガ六分通りノ配當ニナルニ相違ナイ、併ナガラ私ノ算盤ニ依ッテ勘定スレバ、凡ツ政府ノ豫算ノ通デアレバ、十三万七千圓ノ中、三十万圓ノ配當カラ七万八千圓來ル、殘ル五万九千圓ヲ岐阜縣ニ於テ積マナケレバナラヌ、且其他岐阜縣ニ於テ十六万二千七百圓ノ救助金ガ必要ト見マスレバ、現在五十五万圓ノ貯金ガアルカラ、是ヨリ生ズル利息二万七千餘圓ヨリ外ナイ、其不足ハ十三万五千圓アル、此三分ノ一四万八千三百圓ハ國庫ヨリ補給ヲ受クルガ、三分ノ二ノ八万六千七百圓ハ、岐阜縣ガ尙ホ負擔シナケレバナラヌ、然ラバ年々歳々自ラ支出ノタメニ八万六千七百圓ト、外ニ五万九千圓、合シテ十四万五千餘圓ヲ岐阜縣ガ負擔シナケレバ、本案ガ實行サレヌト云フコトデアアル、此他和歌山縣ニト云ヒ、大分、岐阜縣ニ、從ッテ本案ヲ實行ニナツテモ、施キ切レヌト云フ處モアルデアアルカラ、政府ニ於テ撤回ヲシテハドウデアアルカト云フ議論モアツタガ、政府ハ此點ニ就イテ考ヘテ前申ス通、十五日ヨリ十九日マデノ間ノ猶豫ヲ與ヘテ、十九日ニ委員中ノ一名ヨリ但書ガ出タノデ、但書ハ諸君ノ御手許ニアル如クニ、第九條ノ但書ヲ附ケマシテ「但シ府縣ノ貯蓄金額第七條ノ金額ニ達スルマテハ其ノ超過額ヲ交付スヘシ」即チ年々歳々ノ支出ニ對シテ、從前ノ如ク百分ノ五支出シタモノハ、皆中央ヨリ出スコトニナリマス、ソレハ即チ各府縣ニ支出ノ二十倍、即チ第七條ノ主義ニ當テ該ル年間ノ間ハ、六條ノ但書ニ於テ全額ヲ政府ガ補給スル、併ナガラ第五條ニ於テ政府ハ三十万圓ヲ支出シテ、地方ハ是ト共ニ貯蓄スルト云フコトデアアル、政府ハ但書ノ意見ヲ容レルカ容レヌト云フタ所ガ、非常ニ困難デアアルガ、如何ニモ一昨年ノ災害ニ於テ、新法ヲ實行スルハ困難デアアルト思ヒマスカラ、非常ナル都合ヲ以テ、第六條ノ但書ニ同意スルト云フコトデアリマス、是ヲ以テ委員會ハ四二二ト云フ比例ヲ以テ、但書及第七條ノ終ノ分ヲ修正シテ可決シタノデゴザイマス、此段御報告致シマス、極簡略ニシテ置キマスカラ、御質疑ノ點ガアリマスレバ、何時デモ御答致シマス

○芦塚省三君(百八十二番) 委員長デモ、政府委員デモ宜シウゴザイマスガ、本案ニ就イテ質問致シマス、唯今委員長ヨリ報告ニナリマシテ、本案ハ前ノ備荒儲蓄法ノ繼續者デアルト云フコトハ、御報告ニナリマシテ通りデ、成程備荒儲蓄法ノ繼續者デアルト云フコトハ考ヘラ、所ガ前ノ備荒儲蓄法ニ於キマシテハ、一縣デアリ、或ハ二縣デアリマシテモ、火災ニ罹リ、洪水ニ罹リマシテ流出ヲ致ス其場合ニ、大變困難ヲシテ、雨露ニ曝サレ、饑餓ニ迫ルト云フ窮民ガアツタ際ニ、前ノ備荒儲蓄法ニハ、罹災者ノ多少ニ拘ラズ救助ヲシテ居ッタノデゴザイマス、然ル所本案ニ依ッテ見マスルト、罹災者ハ府縣ノ全部、又ハ一部以上ガ災害ニ罹ラタトキ、又一部ニ涉ラザルトキハ、多數ノ人民同一ノ災害ニ罹ル時デナケレバ、罹災救助基金ヲ支出シテ、其貧民

ノ困難ヲ救フト云フコトニ致サナイト云フ都合ニナツテ居ルガ、是ハ少數ノ貧民ハ、何ボウ饑餓ニ迫ッテモ、雨露ニ曝サレテモ、決シテ構ハナイ、少數ノモノハ見逃シテ置クト云フ精神デアリマセウカ、全體斯ノ如ク世ノ中ハ善良ニ進ミマシテ、誠ニ慈愛トカ、或ハ愛敬トカ云フコトガ、大變ヤカマシク云フ世ノ中デアアル、然ルニモ拘ハラズ、少數ノ貧民ハ、家ガ焼ケテモ、水ガ出テモ構ハナイト云フ精神デアアルカ、其邊ヲ尋ネマス

○大竹貫一君(七十四番) 百八十二番ニ御答致シマスガ、最前モ申上ゲマシタ通、罹災救助基金法案ハ、備荒儲蓄法ノ相續者デアリマス、備荒儲蓄法ハドウ云フ所カラ來タカト云フト、八年ノ七月、百二十二號ノ窮民ノ一時救助規則、十年ノ第六十二號凶歲租稅延納規則、變體トナツテ備荒儲蓄法トナツタ、其相續人ト爲ッタ救助基金法案デアツテ、所謂風災デアルトカ、水害デアルトカ、震災デアツタトカ、又ハ海嘯、斯ノ如キモノデアツテ、即チ一時ノ天災ノ方デアツテ、今百八十二番ノ御問ノ、或ハ非常ノ病氣ニ罹ラタトカ、非常ナル苦困ニ逢ッタトカ云フ如キ、即チ貧民救助恤救法デアリナイデアリマス、文字ハ罹災救助ト云フコトデアリマスガ、罹災救助基金法案ノ第二條ハ、恰モ十年ノ備荒儲蓄法ノ第一條ニアル如キモノ、段々ト變換シタモノト思召シタラ宜カラウト思ヒマス、備荒儲蓄法ノ第一條ニ「備荒儲蓄金ハ非常ノ凶荒不慮ノ災害ニ罹リタル窮民ニ食料小屋掛料農具料種粉料ヲ給シ又罹災ノ爲メ地租ヲ納ムル能ハザル者ノ租稅ヲ補助シ或ハ貸與スルモノトス」斯ノ如ク備荒儲蓄法ニアルデアリマス、是ハ先キニ申上ゲマシタ如ク、海嘯ナリ、震災ナリ、之ヲ加ヘテ罹災救助基金法案ト爲ッタ來タノデ、一個人ハ數人ヲ救助スル貧民救助、即チ救恤法デアリナイデアリマス

○工藤行幹君(百九十七番) 私ハ政府委員ニ御尋シタイ「此今度ノ第八條ニハ、救助スベキ目ガ設ケテアツテ、其費用ガ舉ッテ居ッテ制限ガナイ、今度ノ制限ノナイノハ、縣々デスルト云フコトデアリマセウカ、ソコデアリ元トノ法案ハ三十万圓ヨリ一箇年ニ出サヌデ、各府縣ニ配付スル其外ハ三分ノ一ヲヤルト云フコトチノ方デハ制限ヲ附ケテ置クカラシテ、此給與ノ法ニ制限ガナクテモ宜イヤウナモノデアアル、今度ハ各地方ニ小屋掛料ナリ、食料ナリ、被服料ナリ多クヤル年モアリ、少ナクヤル所モアツテ、然ル後ニ尙ホ此委員會ノ修正ノヤウニ、當分ノ間ハ百分ノ五ヲ支出スルトキニハ後トハ政府デ持タナクテハナラヌト云フコトニナツタラバ、餘程從來ヨリ政府カラ支出スル金高ガ多クナルダラウト本員ハ想像致ノデゴザリマス、然ルニ政府ハ是ニ御同意ノアル以上ハ、凡ソ自今ハドノ位アツタラバ、此政府ノ支出金ト云フモノハ年々足リルト云フ御見込デアアルカ、又此原案ニ於テ此費目ニ對シテ制限ヲ解イタト云フノハ如何ナル見込デアアルカト云フ、此二點ヲ一寸承リ

○政府委員(駒井重格君) 唯今御尋ノ八條ノ諸費目ニ就キマシテ、制限ヲ解

イタ理由ト云フコトデアリマスガ、是ハ從來ノ備荒儲蓄法ニハ成程制限ガアリマス、所ガ之ヲ今日マデ實施シマシタ經驗上、ドウモ此制限ト云フモノハ實地ニ不適當デアル、何故トナレバ例ヘバ、食料費ノ如キハ三十日以内ト云フ制限ヲ立テ、アリマスルガ、所ガ實際ニナリマス、ドウシテモ三十日デハ足リナイ、或ハ六十日或ハ九十日モ水ニ漬ツテ居ルト云フヤウナ場合ガ既ニ昨年ナドモアリマシテ、ドウシテモ三十日ノ制限デハイケヌト云フ場合ガアリマス、又ソレノ反對デ、三十日ト云フコトノアルガタメニ、或ハ又格別不必要ナ場合ニ於テモ、三十日マデハヤルト云フヤウナ弊害ガ一方ニナイトモ言ハレナイ、ソレデ總テガ矢張サウ云フヤウナ幾ラカ理窟デアリマシテ、地方ノ模様ト云フモノガ變リマスルカラ、災害ノ模様モ從ツテ變ル、ソレ故ニ例ヘバ小屋掛費ノ如キデモ、水害地方デアリマスレバ從ツテ格別堅牢ナ小屋モ要ラナイ、所ガ又東北地方ノ雪ノ多イ所ニナリマシテ、先度ノ震災ノ如キ場合ニ至リマス、降雪ノ時期ヲ期シテ小屋掛ヲシナケレバナラヌト云フコトデアリマシテ、是モ制限ニ制セラレテ居テハ甚ダ實施上ニ困ルコトガアル、ソレデ是等ノコトハ各地方ニ任セマシテ、其必要ノ程度ト云フモノヲ計ツテ、ソレアルニ支給ノ途ヲ立テルト云フコトガ、最モ其宜シキヲ得ルダラウト云フコトカラシテ、此法案デハ此制限ヲ解イタノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、此制限ヲ解イタコト、ソレカラ幾ラカ區域ノ擴ツタト云フコトノタメニ、幾ラカ政府ノ支出金モ増スダラウト云フ御話デアリマスガ、是ハ増シマセウ、増シマセウガ、何分天災ノコト、云フモノハ、固ヨリ豫期スル譯ニハ往クモノデアリマセウカラシテ、到底確實ナル豫算ト云フモノハ立テラレマセウ、併ナガラ是マデ二十年度以降ノ先ヅ平均ニ依リマシテ見マセウ、丁度政府ガ凡ソ一箇年五十万圓程ニ對シテ支出シテ居テ計算ニナツテ居リマス、ソレデ此區域ノ擴マリマシタノデ、色々計算シテ見マシタ所デドノ位増シマスカ、イヅレ一割カ二割ノ増加ニハナラウト思ヒマスガ、何分災害ニ就イテノ費用デアリマスカラ、是ハ年々幾ラ要ルト云フヤウナコトヲレツカリト御話申ス譯ニハ往キマセウ

(堀内賢郎君演壇ニ登ル)

○堀内賢郎君(七十五番) 私ハ此唯今委員長ヨリ報告ヲセラレマシタ罹災救助基金法案ニ對シテ、反對ヲスル考デアリマス、唯今委員長ノ報告ハ縷々數百言ニ涉リマシタガ、其事柄ハ修正ノ必要ト云フコトヨリ、寧ロ法案ノ不完全ナルト云フコトヲ證明セラレタヤウニ聽取リマシタカラ、私ハ是ニ反對スルノデゴザイマス、ソレデ今般政府ガ提出セラレタ所ノ罹災救助基金法案ハ、如何ナル趣意ヲ以テセラレタカト言フト、今マデノ備荒儲蓄法ノ相續法トシテ、各府縣ニ獨立自治ノ基礎ヲ作爲セシムルト云フコトヲ本ニシマシタガ、各府縣ニ獨立自治ノ基礎ヲ作爲セシムルト云フコトハ、頗ル其當ヲ得ナイト思フ、之ガ若シ政府ノ目的通ニ總テ天變地異ヨリ生ズル事柄ヲ、從前五箇年十箇年ニヤリ來ツタル例ニ依ツテ、今マデヤツタ所ヲ自治テ此事ヲ爲サシ

メヤウト云フコトデアリマスケレドモ、是ハ其ノ頗ル當ヲ得ナイト思フ、天變地異ノ生ズルコトハ、或ハ何レノ縣、何レノ府ニ生ズルカ、是ハ測リ知ルベカラザルモノデアツテ、岐阜縣、愛知縣、巖手縣ニ起ツタ害ノ如キ、震災若クハ風災害ノ如キモノガ、他日如何ナル府縣ニ起ルカハ是ハ知ルベカラザルコトデ、今マデアツタ例ニ依ツテ、必ズ此例ニ從ツテ災害ガ此府縣ニ起ルト云フコトヲ目的トシテ立テラレタ法案ハ、大體ニ於テ私ハ同意スルコトガ出來ナイ、ソレデ此各府縣ノ今マデ取扱ツタノハ、ドウ云フ趣意カラ來テ、此法案ハドウ云フコトカラスノ如キコトヲヤルカト言フト、十三年ノ備荒儲蓄法ニ依ツテ百二十万圓ト云フ金額ヲ年々政府ガ支出シテ、中央ニ九十万圓蓄積シ、三十万圓ハ各府縣ニ之ヲ配付シマシタ、此百二十万圓ツツ二十三年マデ十一箇年間積來ツテ、二十三年ニ於テ此救助ノ法ヲ換ヘテ積立金ヲ廢シマシタガ、此金額ハ即チ諸君モ知ラル、通二十九年度ニ於テ使ヒ切ツテシマシタガ、此使ヒ切ツタ額ヲ平均シテ見マセウ、政府ガ年々各府縣ニ配付シヤウト云フ金額ハ、三十万圓ニ止ツテ居ルカト云フコトヲ調ベルト、決シテ三十万圓四十万圓デハナイ、六十万圓以上支出シテ居ルト云フ事實ヲ證明シテ居ル、然ルニ此度政府デ二十万圓ツツ十箇年各府縣ニ割當テ、配付シテ、之ヲ以テ各府縣ノ罹災救助ニ關係スルコトハ、獨立自營セヨト云フ所ノ法案デアリマスガ、是ハ私ハ前申上ゲマスル通、甚ダ其當ヲ得ヌ所ノ法案デアルト考ヘマスル、ソレデ昨年政府ガ各府縣ヘ支出シマシタ所ノ備荒儲蓄ノ金額ハ、殆ド百万圓ニ達シテ居マスガ、其殆ド半數五十七万圓ト云フモノハ、岐阜一縣ニ向ツテ支出シテ居マス、然ルニ政府ハ將來三十万圓ツツ十箇年各府縣ニ基金トシテ補助シテ、其以外ニハ更ニ政府ハ之ニ對スル所ノ義務ヲ持タナイト云フヤウナ法律ニシテ、地方ノ罹災救助ニ關スル基金ハ獨立自營セシメヤウト云フ法案ヲ提出致シマシタガ、私ニ於テハ斯ウ云フコトハ宜シク國家ノ職務トシテ之ヲ補助スルト云フ方法ヲ立テラレ、則チ前備荒儲蓄ノ精神ヲ繼續セラレテ、政府ニ於テハ年々九十万圓若クハ百万ノ金額ヲ備荒儲蓄ノタメニ蓄積シ、若クハ地方ニ向ツテハ三十万ナリ、四十万ナリノ金ヲ各地方相當ナル處ニ賦課シテヤルト云フコトガ、頗ル相當ナコト、考ヘル、併ナガラ此法案ノ改正ト云フモノハ、今日ニ於テ諸君ガ十分御審查ノ上ニ於テ、吾ガ目的ニ副フヤウナ案ニナラウト云フコトヲ思フテ居リマシタガ、豈圖ラシヤ、備荒儲蓄法案ヲ繼續スル重大ナ法案ヲ、僅カ一條ノ改正ニシテ止メルト云フコトハ、甚ダ不本意ニ思ヒマスカラ、先ヅ本年ノ場合ニ於テハ此案ハ否決ヲスルト云フコトヲ私ハ一言述ベテ置キマス

(贊成ト呼フ者アリ)

(政府委員大藏省國債局長駒井重格君演壇ニ登ル)

○政府委員(駒井重格君) 唯今此罹災救助法案ニ就キマシテ、反對ノ御演說ガゴザイマシタガ、固ヨリ御說ノ違フコトニ於テハ差支モアリマセウガ、少シ政府ノ之ヲ提出シマシタ趣旨ニ於テ、未ダ十分ニ御了解ニナラヌコトガア

リハセヌカト思ヒマスカラ、一應申述ベマスガ、先ヅ大要聽取リマシタ所デハ、矢張是マデ通中央儲蓄金ヲ置キ、府縣ノ自治ナド、云フコトハ先ヅ廢シテ、サウシテ國家ガ之ヲ永遠ニ負擔セヨト云フヤウナ御話ノヤウニ承リマシタガ、成ル程ソレハ現今ノ備荒儲蓄法ニ依ッテト云フ御話デアリマスガ、現今備荒儲蓄法ハ二十三年マデノ期限デゴザリマシテ、此二十三年ヲ過ギレバ總テ府縣ニ委シテシマフト云フガ二十年前ニ出來タ法律デス、其當時ハ成程政府ハ年々百二十万圓ヅツ此タメニ取除ケマシテ、内九十万圓ヲ府縣ニ配付シ、三十万圓ヲ中央ニ積ムト云フコトニナツテ居リマス、ソレト同時ニ府縣ハ其政府カラシテ交付ヲ受ケルダケノ金額ヲ、毎年矢張儲蓄セネバナラヌト云フコトニナツテ居リマシタカラ、府縣モ亦九十万圓積ムンダ譯デアアル、所デ今度ノ法案ニ依リマスレバ、ソレ程多ク積ムニハ及バヌ、デ、政府ハ中央ニ儲蓄スルト云フコトニ於キマシテハ、今日ノ財政上速モソレハ許シマセヌニ依ッテ、臨時非常ナ場合ニ於テハ其救助金ヲ交付スルト云フ方法ニシマシテ、平年ニ於キマシテハ年々二十万ヅツ府縣ニ交付スル、府縣ハ強チ三十万圓トハ申シマセヌシ、又五十万圓トモ申シマセヌ、免ニ角ニ各府縣ハ此七條ノ金額ニ達スルマデハ積マネバナラヌト云フコトダケニシテアルノデゴザリマスカラ、必シモ此府縣ト云フモノガ年々三十万圓ヅツ積ムト云フ譯デアハナカラウト思フ、殊ニ此三十万圓ノ計算ト云フモノヲ致シマスレバ、十年ニシテ凡ソ四百何万圓ト云フモノニナリマス位デゴザイマスカラ、府縣モ同額ヲ積ムト致シマスレバ既ニ十箇年ニシテ八百餘万圓ヲ積ムト云フ譯ニナリマス、八百餘万圓ヲ積ミマスレバ、殆ド此七條ノ總額ニ對スル譯ニ金額デアハナリマス、併ナガラ實際ニ致シマシテハ各府縣デ既ニ七條以上ノ金額ヲ積ムンダ居ル所モアリマスカラシテ、千万圓殆ド此二十箇年間ニ積ムト云フ計算ニナツテ居リマス、サウ云フヤウナ譯デアアル、政府ガ三十万圓出スノハ少ナイト云フヤウナ御考ガアルカノヤウニ思ヒマスガ、又從ッテ各府縣ニ於テ積ム高モ政府ガ支出スルダケノ額ヲ積ミサヘスレバ、ソレデ十分此七條ノ金額ハ積メテ往ク計算ニナツテ居リマス、却テ餘ル位——サウ云フヤウナ譯デアアル、決シテ政府ガ支出スルコトガ少ナイカラ、現今ノ法ノ精神ニ違フトカ、現今ノ法ヲ行ヘバモット多クスルト云フ御話デアリマスガ、成程百二十万ヅツ支出シタラ多クハナリマセウガ、今元ノ法ノヤウニ百二十万圓ヅツ政府ガ支出スルト云フコトニナレバ、府縣モ亦九十万圓ヅツ儲蓄シナケレバナラヌト云フコトデ、負擔ハ餘程重クナルト思ヒマス、御參考マデニ申上ゲマス

○稻葉市郎右衛門君(百八十番) 煙草稅ニ關スル特別委員會ヲ是カラ開キマス

○議長(鳩山和夫君) 諸君ニ御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 宜ウゴザリマス——本案ニ讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者

〔多數〕少數ノ聲起ル

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス——多數ト認メマス

〔多數ナラ異議ガアリマス〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 異議ヲ申立テル方ハ起立シテ居テ下サイ、數ヘマスカラ……

〔此時起立スル者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 制規ノ數ガアルモノト認メマス——閉鎖、例ニ依ッテ記名投票ニ致シマス、氏名ヲ點呼致シマス

〔町田書記官氏名ヲ點呼ス〕

〔ドウ投票スルノデスカ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 注意ヲ怠リマシタ、諸君御承知ノコト、思ヒマシタガ、贊成ハ白、反對ハ青デゴザイマス

〔町田書記官氏名點呼ヲ繼續ス〕

○議長(鳩山和夫君) 閉鎖——是ヨリ點檢致シマス

〔書記官投票ノ數ヲ計算ス〕

○議長(鳩山和夫君) 記名投票ノ結果ヲ報道致シマス

總數百十四

可トスル者 四十八

否トスル者 六十六

本案ノ二讀會ハ開カザルコトニ決シマシタ、日程第四、阿片法案

第四 阿片法案(政府提出貴族院送付)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

第一讀會

阿片法

第一條 阿片ヲ製造セントスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 阿片製造人ハ毎年十二月二十日迄ニ其ノ製造シタル阿片ヲ政府ニ納付スヘシ

前項ノ阿片ハ政府ニ於テ試驗ヲ施シ其ノ莫見比涅含量所定ノ度ニ適スルモノニハ賠償金ヲ交付シ其不適品ハ無償ニテ燒却ス

第三條 阿片ハ政府ニ於テ醫藥用品ニ限り封緘ヲ施シ之ヲ賣下クルモノトス

政府ノ賣下ケタル阿片ノ外ハ賣買授受所有又ハ所持スルコトヲ得ス

第四條 第二條ニ依リ賠償金ヲ交付スヘキ阿片ノ莫見比涅含量及賠償金額竝ニ第三條ニ依リ賣下クヘキ阿片ノ價格ハ內務大臣之ヲ告示ス

賠償金ヲ交付スヘキ阿片ノ莫見比涅含量ヲ増加シ又ハ賠償金額ヲ低減セントスルトキハ一箇年以前ニ告示スヘシ

第五條 阿片ハ地方長官ヲシテ其ノ管内藥劑師藥種商中相當ノ人員ヲ限リ卸賣人ヲ指定シテ賣下ケシム

第六條 醫師及藥品營業者ニ於テ阿片ヲ要スルトキハ數量竝ニ住所氏名年月日ヲ記シ調印シタル證書ヲ以テ卸賣人ヨリ購求スヘシ
醫師及製藥者ハ阿片ヲ藥劑師藥種商ヨリ購求シ又ハ藥劑師藥種商互ニ之ヲ賣買スルコトヲ得此ノ場合ニハ前項ノ證書ヲ以テスヘシ

第七條 阿片ハ前條ノ外醫師ノ處方箋ヲ以テスルニアラサレハ賣買スルコトヲ得ス
藥劑師ハ政府又ハ他ノ藥劑師ニ於テ封緘シタル容器ヲ開キテ阿片ヲ零賣スルコトヲ得此ノ場合ニハ適當ノ容器ニ納メ之ヲ封緘スヘシ
藥種商ハ卸賣人タルト否トヲ問ハス政府又ハ藥劑師ニ於テ封緘シタル容器ヲ開キテ零賣スルコトヲ得ス

第八條 處方箋竝ニ第六條ノ證書ハ其ノ日付ヨリ滿十箇年間之ヲ保存スヘシ

第九條 地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ阿片ヲ製造シタル者又ハ第三條第二項ニ違背シタル者ハ百圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス
第十條 地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ製造シタル阿片又ハ政府ノ賣下ケタルニ非サル阿片ハ刑法ニ依リ沒收スルノ外何人ノ所有ニ拘ラス警察官ニ於テ之ヲ沒收スルコトヲ得

第十一條 第二條第一項ニ違背シタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 第七條第八條ニ違背シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
第十三條 阿片製造人又ハ阿片卸賣人此ノ法律又ハ其ノ施行ニ關スル規則ニ違背シタルトキハ地方長官ハ其ノ許可又ハ指定ヲ取消スコトヲ得

第十四條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス
第十五條 此ノ法律施行ノ日現ニ阿片製造人タルノ許可ヲ有スル者ハ第一條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十六條 此ノ法律施行以前地方廳ニ預リ置キタル阿片ハ之ヲ燒却ス
第十七條 明治十一年布告第二十一號藥用阿片賣買竝ニ製造規則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

○政府委員(後藤新平君) 議長
○議長(鳩山和夫君) 政府委員(後藤新平君)
○政府委員(內務省衛生局長後藤新平君) 演壇ニ登ル

○政府委員(後藤新平君) 阿片法案ハ、既ニ貴族院ノ議事ヲ經マシテ、當院

ニ提出セラレマシタガ、二三ノ修正ハアリマスケレドモ、是ハ總テ政府ニ於テモ同意スル所デアリマス、其提出ノ理由ニ至リマシテハ、既ニ理由書ニ詳デアリマスカラ、別ニ申述ブルノ必要モナイ位デアリマスガ、此阿片法案ナルモノハ、即チ阿片製作ノ基礎トモ申スベキモノデアリマス、然ルニ此案ハ、明治三十年以來、名ハ變ッテ居リマスケレドモ、度々多少ノ修正ヲ加ヘタモデアリマス、現行ノ阿片賣買竝ニ製造規則ナルモノハ、明治十一年ノ制定ニ係ル所ノモノデアリマスガ、其當時ニ於キマシテハ、或ハ命令ニ讓ルベキ所ノモノモ、此布告ノ中ニ規定サレテ居リマシテ、今日此布告ガ法律ト同一ニ看做サル、ト云フコトニナリマシタモ、行政ノ實際ニ於キマシテ、不便ヲ感ズル所モ少ナカラヌデアリマス、殊ニ理由書ニモ書イテアル通り、阿片ノ莫見比涅含量價格ナドヲ、法律定メテ置クト云フコトニ至ッテハ、實際不便ノ最モ多イ所ノ事柄デアリマス、併シ其各條ニ至リマシテノコトヲ、茲ニ一々申述ブルハ煩ヲ免レヌコトデアリマスカラ、是ハ除キマス、唯此法律ノ——本案ノ精神トスル所ハ、第一ノ要件ハ、藥用阿片ニ限ルト云フコトト、第二ノ要件ハ、藥用阿片ニ適セザル阿片ハ國禁物トシテ扱フト云フコトト、第三ノ要件ハ、其國禁物トスル藥用阿片ニ適セザルモノト、藥用阿片ニ適スルモノトハ、莫見比涅ノ含量ヲ以テ定ムルト云フコトト、苟モ不適品ト極ツタモノハ、國禁物デアリマスカラ、何人ノ所有ニモ歸セシメザルト云フ、此第四ノ要件カラ生ジタデアリマス、從來ハ政府ニ預リ置クト云フコトデ、即チ現行法ノ通ナッテ居リマスガ、併シ斯様ナ國禁物ヲ政府ニ預リ置クトニシマシテ、各地方廳ニ預リ置イテハ、却テ煩ヒラ生ジマスカラ、ツレ故ニ此度ハ之ヲ燒却スルノ制ニ改メマシタデアリマス、又今日マデノ法律ニ於キマシテハ、其政府ノ拂下ゲタル阿片ニアラザル阿片ヲ所持シテ居ルモノニ對シテ、斯様ナ處分ヲスルト云フコトガナカッタデアリマスガ、御承知ノ通り、日清戰爭後、清國ト我帝國トノ交通ハ頻繁ト爲リ、中ニ又臺灣ト云フ新領地ガ出來マシタメニ、阿片杯ノ取締ニハ餘程注意ヲシナケレバナラヌヤウニナリマシタカラ、從來法律ノ缺點デアリシ所ノ、政府ノ拂下ニアラザル阿片ノ所有ニ就イテノ處分ノコトモ、明ニ規定シタデアリマス、其外此命令ニ讓ルベキ所ノモノハ、現行ノ法律ニ比較シテ見ルト、削除ヲ致シタ箇條モアリマスガ、大要右ノ如キモノデアリマス、此衆議院ニ於テモ、速ニ御協贊ヲ全ウスルコトヲ切ニ希望致シマス

○吉本榮吉君(二百五十一番) 今日ニナッテ、サウ澤山ノ議案ヲ出シテ、サウ長イ説明ヲサレテハ、大キニ困ルカラ、議員ノ方カラ質問デモ致シタラ説明スルコト、シテ、サウナケレバ、説明ハ省イテ貫ヒタイ、又是ハドウシテモ、規則上今日否決スルコトモ、可決スルコトモ出來ナイモノナレバ、何レモ議員ガ求メザルニ拘ラズ、説明スルノ必要ハナイ、故ニ私ハ此十一マデハ、併テ議題ト致サル、コトニ致シタウゴザイマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 吉本君カラ第四カラ——十三マデ、ゴザイマスカ
○吉本榮吉君(二百五十八番) 十一マデ
〔異議ガアリマス〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 十一マデ、續イテ議題ト爲スコト——御異議ガアルナラバ、普通ニ規則ノ通、順次ヤッタ方ガ宜カラウト思ヒマス、此案ニ就イテハ、別ニ御質問モナイカラ、次ノ日程ニ移リマス、日程第五

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○吉本榮吉君(二百五十八番) 此委員ハ、議長ノ指名ニ致シタイ
○議長(鳩山和夫君) 此特別委員ノ選舉ハ、議長ニ委任スルト云フ動議ガアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 其通り決シマス、日程第六、株式會社十五銀行株式華族世襲財產ト爲スノ件法律案

第六 株式會社十五銀行株式華族世襲財產ト爲スノ件法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

株式會社第十五銀行株式華族世襲財產ト爲スノ件法律案
第十五國立銀行明治二十九年法律第七號營業滿期國立銀行處分法第一條ニ依リ營業ヲ繼續シタル後ニ於テ仍ホ其ノ株式ハ華族世襲財產法第三條第二類ニ準シ世襲財產ト爲スコトヲ得

○政府委員(神輦知常君) 議長
○議長(鳩山和夫君) 政府委員神輦知常君

〔政府委員法制局長官神輦知常君演壇ニ登ル〕

○政府委員(神輦知常君) 此案モ特ニ説明スルニ及バヌ位單簡ナモノデアリマスガ、請リ特殊ノ成立ヲ持ッテ居ル十五銀行ノ、此五月ニ滿期ニナッタ後トハ、繼續シマスル株ヲ華族ノ世襲財產ニ移スト云フコトデゴザイマス、現ニ十八万バカリノ株ノ中、唯今華族ノ持ッテ居リマスノガ三分ノ二近クゴザイマス位デゴザイマスカラ、ドウカ從來ノ十五銀行ノ歴史ト現今ノ景況トニ照シマシテ、華族ノ世襲財產タルコトノ效力モ、繼續ト共ニ引續イテ有セシメタイト云フコトニ止マリマスノデゴザイマスカラ、ドウカ御協賛ヲ希望致シマス

○草刈親明君(百四十四番) 第十五國立銀行ハ、繼續スルト云フコトハ、極テ居ルノデゴザイマスカ

〔政府委員法制局長官神輦知常君演壇ニ登ル〕

○政府委員(神輦知常君) 繼續スルコトニ議決致シテ居リマスルカラ、必ズ繼續スルモノト認メテ居リマス、併ナガラヒヨットシテ議決ハシテ置キマシテモ、滿期ノ時マデニハドウナルカ分リマセヌガ、併ナガラ若シサウナリマ

シテ、今極メテ置キマセヌト云フト、此繼續シタ後トノ採用ニ效力ヲ持タセラルコトガ出來ヌヤウニナリマスカラ、今日ハ繼續スルモノト見テ、此法律ハ極テ居ラナケレバナラヌ、續キデゴザイマセウカラ、滿期ニ先ッテ提出シマシタモノデゴザイマス

○草刈親明君(百四十四番) 一體十五銀行ノ營業滿期ハ何年何月デゴザイマス

○政府委員(神輦知常君) 是カラ御答致シマス、今年ノ五月デゴザイマス

○草刈親明君(百四十四番) 私ハ此議案ニ就イテ反對シマス、凡ソ法律ナルモノハ、事實ガ確定シタ後デナケレバ施行スヘキモノデハナイ、將來斯ノ如キコトガ事業ガ興ルデアラウ、斯ノ如キ變動ガ來ルデアラウト云フコトヲ豫想シテ、法律ヲ拵ヘルト云フコトヲハ決シテ出來ナイ、此法律ヲ拵ヘテ、今若シ十五國立銀行ガ繼續シナイト相成リマシタラバ、ドウデゴザイマセウ

○議長(鳩山和夫君) 草刈サンチヨット、アナタノ發言ヲ止メルト云フ譯デアアリマセヌガ、政府案デハイヤデモ應デモ、特別委員ニ付託シナケレバナ

○草刈親明君(百四十四番) サウデスナ
○岡田良一郎君(百六十番) 私ハ事ニ暗イカラ質問致シマスガ、華族ノ世襲財產ハ、大概法律ヲ以テ規定シテアルモノデ、例ヘバ正宗ノ刀ニ致セ、吉光ノ刀ニ致セ、夫、財產ニスルニハ法律デ皆極メルノデスカ

○政府委員(神輦知常君) 此十五銀行ノコトハ、華族世襲財產法ノ第三條ニ明記シテアルモノデゴザイマシテ、其續合ヒカラ同シ效力ヲ有セシムルニハ、法律ヲ以テ決定スルコトヲ必要ト致シマス

○議長(鳩山和夫君) 他ニ御質問ナケレバ次ノ日程ニ移リマス、日程第七

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○吉本榮吉君(二百五十八番) 此委員ハ議長指名ニ致シタイ
〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(鳩山和夫君) 此特別委員ノ選舉ハ、議長ニ委任スルト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(鳩山和夫君) 其通りニ決シマス、日程第八、重要輸出品同業組合法案、第一讀會

第八 重要輸出品同業組合法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

重要輸出品同業組合法

第一條 重要輸出品ノ生産製造又ハ販賣ニ關スル營業ヲ爲ス者ハ同業者又ハ密接ノ關係ヲ有スル營業者相集リテ本法ニ依リ同業組合ヲ設置スルコト

ヲ得

重要輸出品及密接ノ關係ヲ有スル營業ノ種類ハ農商務大臣ノ認定ニ依ル

第二條 同業組合ハ組合員協同一致シテ營業上ノ弊害ヲ矯正シ信用ヲ保持

第三條 同業組合ヲ設置セムトスルトキハ豫メ地區ヲ定メ其ノ地區内ノ同

業者五分ノ四以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務大臣

ノ認可ヲ受クヘシ但シ二種以上ノ營業者相集リ組合ヲ設置セムトスルト

キハ各種營業毎ニ五分ノ四以上ノ同意ヲ要ス

農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ地區ノ範圍及組合ニ加入スヘキ營業ノ

種類ヲ指定シ若クハ其ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第四條 同業組合設置ノ地區内ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ其ノ組

合ニ加入スヘシ但シ營業上特別ノ情況ニ依リ農商務大臣ニ於テ加入ノ必

要ナシト認ムル者ハ此ノ限ニアラス

第五條 同業組合ハ法人トシテ財産ヲ所有シ及訴訟上原告又ハ被告ト爲ル

コトヲ得

同業組合ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 同業組合ハ組合相互ノ氣脈ヲ通シ其ノ目的ヲ達スル爲メ同業組合

聯合會ヲ設置スルコトヲ得

同業組合聯合會ヲ設置セムトスルトキハ其ノ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定

シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

商務大臣ニ報告スヘシ

第十二條 同業組合及同業組合聯合會ハ其ノ業務ニ關シ行政廳ニ建議スル

コトヲ得又主務官廳ノ諮問アルトキハ調査報告ヲ爲スヘシ

第十三條 同業組合及同業組合聯合會ハ農商務大臣ノ命シタル官吏ノ臨檢

ヲ拒ムコトヲ得ス又其ノ質問ニ對シ確實ニ答辯スヘキモノトス

第十四條 農商務大臣ハ公益上必要ト認ムルトキハ同業組合及同業組合聯

合會ヲ設ケシムルコトヲ得

第十五條 農商務大臣ハ同業組合及同業組合聯合會又ハ其ノ役員ノ行爲若

クハ同業組合會議及同業組合聯合會會議ノ決議ニシテ法律命令ニ違背シ

タルトキ又ハ公益ヲ害シ若クハ同業組合及同業組合聯合會ノ目的ニ違背

スルモノト認ムルトキ又ハ此ノ法律ニ依リ農商務大臣ノ命スル事項ヲ執

行セサルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 同業組合及同業組合聯合會ノ解散又ハ其ノ業務ノ停止

二 役員ノ全部又ハ一部ノ改選

三 決議ノ取消

第十六條 同業組合及同業組合聯合會解散ヲ爲サムトスルトキハ其ノ事由

ヲ具シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 第四條第十三條ノ規程ニ違背シタル者若クハ同業組合ノ經費ヲ

納付セサル者ハ二圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

(一五)

過料ハ同業組合及同業組合聯合會ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ命令ヲ以テ之ヲ科ス但

シ其ノ命令ニ對シテハ即時抗告スルコトヲ得

過料ハ檢事ノ命令ニ依リ之ヲ徵收ス其ノ徵收ニ付テハ民事訴訟法第六編

ノ規程ヲ準用ス但シ此ノ場合ニ於ケル檢事ノ命令ハ執行文ノ效力ヲ有ス

第十八條 同業組合若クハ同業組合聯合會ノ檢査證ヲ營業品ニ偽リテ附シ

タル者又ハ偽造若クハ模造ノ檢査證ヲ營業品ニ附シタル者ハ十五日以上六

月以下ノ重禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金

百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第十九條 輸出ニ關セサル物品ト雖同業者ニ於テ必要ト認ムルトキハ仍本法ヲ準用スルコトヲ得

(政府委員農商務次官金子堅太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(金子堅太郎君) 本案ハ昨年本院ニ於テ通過致シマシタノニ、多

少ノ修正ヲ致シマシテ、提出致シマシタノデゴザイマスカラ、其理由ハ昨年

續々陳述致シマシテ、皆様モ御承知ノコトデゴザイマスシ、又本案ノ理由書

ニモ詳シウゴザイマスカラ、ソレヲ御參考下サレマシテ、速ニ御協賛アラシ

コトヲ希望致シマス

○議長(鳩山和夫君) 御質問ガナケレバ次ノ日程ニ移リマス、日程第九

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○吉本榮吉君(二百五十六番) 此委員モ議長ノ指名ニ……
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 此特別委員選舉ハ議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 其通ニ決シマス、日程第十、海上衝突豫防法中改正法律案第一讀會

第十 海上衝突豫防法中改正法律案(政府提出貴族院送付)
〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

海上衝突豫防法中改正法律案
明治二十五年法律第五號海上衝突豫防法中左ノ通改正ス

第七條中「總積量四十噸未満ノ汽船」ヲ「及檣樁若ハ帆ヲ以テ運轉スル二十噸未満ノ船」ヲ「總積量二十噸未満ノ帆船及檣樁ヲ以テ運轉スル船」ニ改メ同條第三項中「檣樁若ハ帆ヲ以テ運轉スル二十噸未満ノ船」ヲ「二十噸未満ノ帆船ハ帆ヲ用ウルト檣樁ヲ用ウルトニ拘ハラヌ」ニ改メ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

四 檣樁ヲ以テ運轉スル船ハ檣樁ヲ用ウルト帆ヲ用ウルトニ拘ハラヌ白色ノ燈籠一箇ヲ手近カニ備置キ衝突ヲ防クニ充分ナル時間ヲ見定メテ臨時之ヲ表示スヘシ

第九條 削除
第十五條第五項ヲ左ノ通改メ同條第六項第七項第八項及第九項ヲ削除ス

五 他船ヲ引キテ運航スル船舶、海底電信線ノ布設若ハ引揚ニ從事スル船舶及航行中運轉自由ヲ得シテ近寄り來ル他船ノ航路ヲ避ケ能ハサルカ又ハ本法ニ遵テ運轉シ能ハサル船舶ハ本條第一項及第三項ニ規定シタル信號ノ代リニ二分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ三聲ヲ連發シ即チ長聲ヲ一發シタル後直ニ短聲ヲ二發スヘシ又他船ニ引カレテ運航スル船舶モ此ノ信號ヲ爲スハ妨ナシト雖他ノ信號ヲ爲スヘカラス

第二十一條ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ他船ニ於テ天氣密濛又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ航路ヲ避ケル船ノ處置ノミニテハ衝突ヲ避ケ能ハサル程兩船接近シタルコトヲ認ムルトキハ自ラ亦臨機衝突ヲ避ケルニ至當ノ處置ヲ爲スヘシ

第三十一條晝間信號第一項中及夜間信號第一項中「一砲發ヲ爲ス」ヲ「砲又ハ其ノ他ノ爆裂發火信號ヲ一發ス」ニ改メ晝間信號第四項ヲ削除シ同第五項ヲ第四項ヲ繰上ケ夜間信號第三項中「空中ニ高響及」ノ六字ヲ削除ス

附則
此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス
〔質問ナシ質問ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 質問モ御異議モナケレバ、次ノ日程ニ移リマス、日程第十一

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○吉本榮吉君(二百五十六番) 此委員モ議長指名ニ致シタイ
〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(鳩山和夫君) 此特別委員ノ選舉ヲ、議長ニ委任スルト云フコトニ御異議ガゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 其通ニ決シマス、日程第十二、航海獎勵法案第一讀會

第十二 航海獎勵法案(政府提出)
〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕 第一讀會

航海獎勵法

第一條 帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若ハ株主トスル商事會社ニシテ自己ノ所有ニ專屬シ帝國船籍ニ登録シタル船舶ヲ以テ帝國ト外國トノ間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ營業トスル者ニハ此ノ法律ノ規程ニ依リ其ノ船舶ニ對シ航海獎勵金ヲ下付ス

第二條 此ノ法律ニ依リ航海獎勵金ヲ受クヘキ船舶ハ總噸數一千噸以上ニシテ一時間十海里以上ノ最快速力ヲ有シ遞信大臣ノ定ムル造船規程ニ合格シタル鐵製又ハ鋼製汽船ニ限ル

第三條 航海獎勵金ヲ受ケムトスル船舶ノ所有者ハ其ノ船舶ニ對シ豫メ遞信大臣ノ認許ヲ受クヘシ

第四條 左ノ船舶ハ航海獎勵金ヲ受クルコトヲ得ス
第一 此ノ法律施行ノ日ヨリ二箇年以後ニ帝國船籍ニ登録スル外國製造ノ船舶

第二 明治二十九年十月一日以後帝國船籍ニ登録ノ際製造後五箇年ヲ經過シタル外國製造ノ船舶

第三 製造後十五箇年ヲ經過シタル船舶
第四 帝國政府ノ命令ニ依レル航路ニ使用スル船舶

第五條 航海獎勵金ハ總噸數一千噸ニシテ一時間十海里ノ最快速力ヲ有スル船舶ニ對シ總噸數一噸航海里數一千海里ニ付二十錢ヲ支給シ最快速力一時間一海里ヲ増ス毎ニ其ノ百分ノ二十ヲ増給ス但シ最快速力一時間十海里以上ノ船舶ニ對シテハ最快速力一時間十七海里ノ船舶ニ對スル割合ニ依リ支給ス

第六條 航海獎勵金ハ製造後五箇年ヲ經過セサル船舶ニ對シテハ全額ヲ支給シ五箇年ヲ經過シタル船舶ニ對シテハ一年毎ニ其ノ百分ノ五ヲ遞減ス
航海獎勵金ヲ算定スルニハ一噸未満一海里未滿ノ端數ヲ算入セス
第六條 航海里數ハ貨物旅客ノ積卸ヲ爲シタル各港間ノ最近航路ニ依リ之

ヲ算定ス
帝國各港へ寄港シ外國へ發航スル船舶ニ在テハ最終ノ寄港地ヲ起點トシ

又外國ヨリ發航シ帝國各港ニ寄港スル船舶ニ在テハ最初ノ寄港地ヲ終點トシテ其ノ航海里數ヲ算定ス

航海里數ヲ證明スルニハ寄港地官廳ノ寄港證明ヲ以テスヘシ

第七條 遞信大臣ハ命令ヲ發シ相當ノ金額ヲ給與シテ第三條ノ認許ヲ受ケタル船舶ヲ公用ノ爲ニ使用スルコトヲ得

船舶所有者前項ノ給與金額ニ對シ不服アルトキハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ出訴ハ使用ヲ停止セズ

第八條 第三條ノ認許ヲ受ケタル船舶ノ所有者ハ遞信大臣ノ命令ニ依リ左ノ割合以内ニ於テ其ノ費用ヲ以テ航海修業生ヲ該船舶ニ乗組マシメ同大臣ノ定ムル手當ヲ支給スヘシ

總噸數一千噸以上二千五百噸未満 二人

總噸數二千五百噸以上四千噸未満 三人

總噸數四千噸以上 四人

第九條 第三條ノ認許ヲ受ケタル船舶ノ所有者ハ遞信大臣ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ外國人ヲ其ノ本支店ノ事務員若ハ該船舶ノ職員ト爲スコトヲ得ス但シ外國ニ於テ死亡其ノ他止ム得サル事故ニ因リ船舶職員ニ缺員ヲ生シタルトキハ該地官廳ノ公認ヲ經テ之ヲ補フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ該船舶ノ所有者又ハ船長ヨリ直ニ遞信大臣ノ許可ヲ請フヘシ

第十條 第三條ノ認許ヲ受ケタル船舶ノ所有者航海獎勵金ヲ受ケ航海スル場合ニ於テハ遞信大臣ノ命令ニ從ヒ該船舶ニ郵便吏員ヲ無賃乗船セシメ及該船舶ヲ以テ郵便物小包郵便物郵便用品及小包郵便用品ヲ無料ニテ遞送スヘシ

第十一條 第三條ノ認許ヲ受ケタル船舶ノ所有者又其ノ承繼人ハ航海獎勵金ヲ受ケ航海スル期間並其ノ航海ヲ終リタル日ヨリ三箇年間其ノ船舶ヲ外國人ニ賣渡、貸渡、交換、贈與、質入、書入スルコトヲ得但シ其ノ船舶ノ既ニ受ケタル航海獎勵金ヲ償還シタルトキ又ハ天災其ノ他抗拒スヘカラサル強制ニ因リ航行ニ堪ヘサルトキ若ハ遞信大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 遞信大臣ハ此ノ法律ニ依リ船舶所有者ノ義務ニ屬スル事項ニ付テハ直ニ其ノ代人若ハ船長ニ命令ヲ下スコトヲ得

第十三條 詐偽ノ所爲ヲ以テ航海獎勵金ヲ受ケタル者又ハ第十一條ノ規程ニ違背シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二百圓以上千圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前項ノ罪ヲ犯サトシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ依リ處斷ス

第十四條 此ノ法律ニ依リ遞信大臣ノ發スル命令又ハ第九條ノ規程ニ違背シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 此ノ法律ヲ犯シタル者ハ刑法數罪俱發ノ例ヲ用井ス

第十六條 詐偽ノ所爲ヲ以テ航海獎勵金ヲ受ケタル者ハ其ノ因テ得タル金額ヲ償還セシメ第十一條ノ規程ニ違背シタル者ハ其ノ既ニ受ケタル航海獎勵金ヲ償還セシム

第十七條 船舶所有者此ノ法律ヲ犯シタルトキハ遞信大臣ハ航海獎勵金ノ下付ヲ停止スルコトヲ得第十二條ノ場合ニ於テ其ノ代人又ハ船長ノ犯シタルトキ亦同シ

第十八條 前數條ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其ノ各條ニ掲クル所爲ヲ爲シタル業務擔當ノ任アル社員若ハ取締役ニ之ヲ適用ス

第十九條 航海獎勵金ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ滿十五箇年間之ヲ支給ス

第二十條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

第二十一條 明治二十九年法律第十五號航海獎勵法ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

第二十二條 此ノ法律施行以前帝國船籍ニ登錄シタル船舶及此ノ法律施行以後一箇月内ニ遞信大臣ニ製造ノ届出ヲ爲シ明治三十一年六月三十日迄ニ帝國船籍ニ登錄スル船舶ニハ總噸數一千噸ニシテ一時間十海里ノ最速力ヲ有スルモノニ對シ總噸數一噸航海里數一千海里ニ付二十五錢ヲ支給シ總噸數五百噸ヲ増ス每ニ其ノ百分ノ十最速力一時間一海里ヲ増ス每ニ其ノ百分ノ二十ヲ増給ス但シ總噸數六千五百噸以上又ハ最速力一時間十八海里以上ノ船舶ニ對シテハ總噸數六千噸又ハ最速力一時間十七海里ノ船舶ニ對スル割合ニ依リ支給ス

○議長(鳩山和夫君) 此案ヲ說明スル政府委員ガ唯今出席シテ居リマセヌガ意向ヲ聽キタイ

○議長(鳩山和夫君) 今呼ビニヤツテ居リマスカラ、暫ク御待チ下サイ

○吉本榮吉君(二百五十六番) 此案ハ去年出シテ議決シタモノヲ、今年茲ニ又改正シテ出スト云フノハ、不届千萬デゴザイマスカラ、是ハ唯其時ニ否決スレバ……

○工藤行幹君(二百九十七番) 是非說明ヲ得タイ

○恆松隆慶君(二百七十二番) 此次ノ日程ノ十四、十六、十八ハ同様ノモノデゴザイマスカラ、豫メ一括シテ問題ニセラレンコトノ希望ヲ述ベテ置キマス

○德増源太郎君(五十九番) 此會期ノ切迫シテ居ル今日ニ當リマシテ、政府ハ續々雨ノ如クニ議案ヲ提出致サレマシテ、說明ヲスル政府委員ガ出テ居ヌト云フノハ、甚ダ不都合千萬、ドウ云フ譯カドウカ十分議長ヨリ御注意ヲ

願ヒタイ、議場ヲ休マセテ置イテドウスルノダ
 ○守屋此助君(百三十二番) 航海獎勵法ヲ説明スル政府委員ガ今見エヌヤウ
 デゴザイマスカラ、ドウカ此十四ノ議案ヲ、日程ヲ變更シテ議サセルコトヲ
 希望致シマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ
 ○議長(鳩山和夫君) 政府案ガ議題ニナツテ居リマスカラ、日程變更デハ

○守屋此助君(百三十二番) 政府案ト政府案デスカラ、宜カラウト思ヒマス
 ガ

○草刈親明君(百四十四番) 併シ十四ノ方モ矢張同シ遞信省デアリマスカ
 ラ、議事日程ヲ變更シテモダメデス

○守屋此助君(百三十二番) 併シ十四ヤ何カハ説明ヲ求メナイデモ……
 ○議長(鳩山和夫君) ソレデハドウデス次ノ日程ニ移リマシテハ、説明ハ後
 トテ聽クコトニ致シマシテ、日程第十三ニ移リマス

(此時「十三デハナイ」十四ナリト呼フ者アリ)
 ○議長(鳩山和夫君) 十二、十三ハ殘スト云フデアリマスカ、今政府委員
 ガ出席サレマシタ

(ソレデハ順次ニヤルベシト呼フ者アリ)
 ○議長(鳩山和夫君) ソレデハ順次ヤリマス、遞信大臣野村靖君

(遞信大臣野村靖君演壇ニ登ル)
 ○遞信大臣(子爵野村靖君) 諸君、航海獎勵法改正ノ案ヲ提出致シマシタ、此
 案ヲ改正セザルノ已ムヲ得ヌ理由ハ、諸君ノ御手許ニゴザリマシテ理由書ノ
 表ニ一通リアリマシラ、御了解ヲ下サルコト、存シマスルガ、其外ニ於キ
 マシテ諸君ノ御注意ヲ惹カンガタメニ一言ヲ呈シマス、彼ノ獎勵法ニ於キ
 マシテハ、我國航海業ノ上ニ於テハ固ヨリ必要ナコトハ申スマデモゴザリマ
 セヌ、既ニ昨年發布ニ相成リマシタ其以來、當局者ニ於キマシテハ、殊更注意
 フ惹キマシテ、之ニ加フルニ外國ノ諸政府ノ爲シテ居リマスル所ノモノヲ
 モ、ソレゾレ詮議モ致シマシテゴザリマス、然ルニ茲ニ於テ改正ヲスルノ
 已ムヲ得ヌコトヲ見出シマシテゴザリマス、元ト現行ノ獎勵法ハ、誠ニ其規
 模廣大ニ、又其保護ヲ爲シマスルノ重イコトデゴザリマス、勿論航海業ノ上
 ニ於テ規模ノ廣大ナルコトヲ欲シ、又保護ノ重キヲモ甚ダ探ルベキコトデア
 リマスガ、之ガ過ギマスルト、却テ國家ノ負擔及又營業者ノ危懼ヲ懷クト云
 フ結果ヲ爲スコト、認メマシテゴザリマス、彼ノ獎勵法ハ其規模ニ於キマシ
 テハ廣大ニ過ギルガタメニ、或ハ其弊ヲ生シマシテ、我帝國直接ノ利益ノ關
 係ノ薄イコトニマデ、其保護ヲ與ヘナケレバナラヌト云フコトニ相成リマス
 ル、又之ヲ保護致シマスル事實ノ上ニモ、外國ニ往ツテ居リマスル所ノ保護
 フ致シマスルコト、比較的ニ甚ダ過ギテ居リマスル故ニ、此過ギタルハ尙
 ホ及バザルガ如シデアリマシテ、此以後負擔ヲ國家ニ致シマスコトモ、遂ニ

權衡ヲ失フ保護ト相成リマシテ、已ムヲ得ズ之ヲ改正シナケレバナラヌト云
 フコトニ遭遇ヲ致スカモ計ラレマセヌ、斯ク相成リマスル上ハ、航海業者ニ
 於キマシテモ、此以後一步々々業ヲ進メタ曉ニ、此法律ヲ改正ニ相成リマシテ
 ハ、其計畫ガ打變リマシタトキニハ、自カラ其業ニ傷ケルコトガ多イト存
 シマス、倍テ斯ク傷ケマスル上ハ、甚ダ我國ノ航海運輸ノ上ニ於テモ、從ツテ
 傷ケザルコトヲ得ヌコトニ結果ガ相成リマスル故ニ、之ヲ改正致シマスルコ
 トハ、一步々々年一年進ミマセヌ中ニ之ヲ改正ヲ致シマスレバ、國家ガ永遠
 ニ取ツテノ負擔モ、自カラ其重キニ苦マヌコトニ安堵ナシマスルシ、之ニ伴
 ヒマシテ航海業者モ危懼ヲ懷カズニ其業ニ從事シ得ラレルコト、存シマス
 ル、右ノ次第ニ於キマシテ本年、即チ昨年度ニ發布致シマシタケレドモ、成ル
 ベク速ニ此事ハ國家及營業者、即チ航海業者ニ對シテ我國ノタメニ確ニナリ
 マスコトヲ希望スルガタメニ、已ムヲ得ズ提出ヲ致シタコトデゴザリマス、將
 又之ニ伴ヒマスルコトデゴザリマス故ニ、豫メ大要ヲ清聽スレマスルガ、
 現行ノ此獎勵法ハ亞米利加、歐羅巴ヲ無論籠メマシテ、大イニ其業ヲ發達セ
 シムルノ仕構デゴザリマス、然ルニ我國ニ於キマシテ直接ニ物品運輸ヲ外國
 ニ致シマスルニハ、必ズヤ定期航海デナケラネバ、此商業ノ發達ト伴ヒマシテ
 其運輸ノ上ニ於テノ信用ニ關係ヲ致シマスル、故ニ此獎勵法ヲ一方ニ於テハ
 改正ヲ致シ、一方デハ亞米利加、歐羅巴ノ如ク運輸ノ處ハ定期ト致シマシテ、
 即チ尙ホ國道ノ如キモノヲ是ニ備ヘマセヌケレバナラヌコト、存シマスル、
 即チ之ガタメニ別ニ豫算外ノ契約ヲ爲スコトモ提出致シマシタ、其詳
 細ハ其案ノトキニ陳述モ致スデゴザリマセウガ、右航海獎勵法ト伴ヒマスル、
 即チ海上ノ件デゴザリマス故ニ、豫メ諸君ノ御注意ノタメニ一言ヲ呈シマス
 ル、會期モ切迫ニ相成リマシタ際ニ、斯ル重大ナルコトヲ提出致シマシタノ
 ハ、諸君ガ最モ御注意ヲ下サラネバナラヌ上ニ於テ、甚ダ御氣ノ毒ニ存シマ
 スルガ、已ムヲ得ズ遲延致シマシテ今日提出ヲ致シマシタコトデゴザリマス、
 彼是殊更ニ御注意ヲ願ヒマシテ御協贊アラントヲ希望致シマス

○工藤行幹君(百九十七番) チョット御尋致シマスガ、唯今ノ遞信大臣ノ御
 演說デ、廣大ニ過ギルト云フコトハ能ク分リマシタガ、唯ドレダケノ規模ヲ
 ヤル積デゴザリマス、今度改正シタ所デハ、結局ドレ位マデハ此獎勵ノ金額
 ヲ出ス、又現今ハドレ丈ノ船ガアルト云フコト、現行法ニ依レバ、從來ド
 レダケアルト云フ、實際ノ御調査ニナツタモノガアラウト思ヒマスガ、其船
 ノ現今ノ所ト、將來ノ所ト比較シタモノガアリマスナラ、ソレヲ一應承リタ
 イト云フコト、モウ一箇條ハ、此第四條ノ第一ニ、帝國ノ船籍ニ登錄スル
 外國製造ノ船舶ト云フノハ、大方船ノ籍ハ日本ニアツテモ、外國デ拵ヘタ船ニ
 限ルト云フヤウニ見エマルスガ、吾々ハ少シ分ラナイコトハ、外國デ出來ナ
 クテモ、日本デ出來テモ同ジデアアルモノナラ、是モ同様獎勵シテモ宜カラウ
 ト思フノニ、外國デ出來タモノニハ此金ヲヤリ、日本デ拵ヘタモノニハヤラ
 スト云フノハ、ドウ云フ譯デアアルカ、此二ツノ點ニ就イテ伺ヒタイ

(政府委員逓信省管船局長佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 唯今工藤君ノ御答ヲ致シマス、現行法ノ規模ガ廣大デアリマスニ依ッテ、此改正案ヲ提出セラレタノデアリマスガ、唯今アリマス船ノ數ハ三十五艘トシテ、三十年度ノ豫算ノ御協賛ヲ得タノデアリマシテ、金額ハ御承知ノ通百七十二萬餘圓ニナツテ居ルノデアリマス、ツレデ此改正案ニ依リマシテモ、二十二條ニ特別ガ置イテアリマスカラ、其百七十二萬圓ハ、今日獎勵法ガ改正ニナツタトテ、減ズル譯デハナイノデアリマスガ、假ニ之ヲ改正案ノ率ニ依ッテ勘定ヲ致シマスルト、百二十萬圓バカリニナルノデアリマス、百七十二萬圓ニ對シテ百二十萬圓バカリニナル割合デゴザイマス、ツレデ始メノ御答ニ當テヤウト存シマス、ツレカラ第四條ニ就イテ御尋ニナリマシタノハ、外國デ造ツタ船デナケレバ、獎勵金ヲ受ケルコトガ出來ヌト云フヤウニ御考ノヤウニアリマスガ……

○工藤行幹君(百九十七番) チョットツレハ私ガ違ヒマシタカラ、第四條ノ處ハ取消シマス、サウシテモウツ承リタイノハ、結局改正シテハ規模ノ大キ過ギルト云フノデゴザイマスガ、政府ハドノ位マデ金額ヲヤル積デアルカト云フ結局ノ所ヲ承リタイ

○政府委員(佐藤秀顯君) 金額ニ就イテ規模ノ大小ヲ……

○工藤行幹君(百九十七番) 百二十萬圓餘デゴザリマスガ結局ドノ位……

○政府委員(佐藤秀顯君) 唯今御答スル譯ハナカラウト存シマス、今度ノ改正案ニ就キマシテ、逐條御覽ヲ下サレバドレ程規則ガ違フト云フコトハ、自ラ御分リデアラウト存シマスカラ、ツレ丈御答シテ置キマス

○工藤行幹君(百九十七番) ツレデハ此後ノ結局ノ御見込ハ立タヌノデゴザリマスガ、立タヌナラ承リマセヌガ、規模廣大ニ過ギルト云フカラ、是デ往ケバ金ガ大キクナツテイカヌ、現今ハ百二十萬圓デアルガ、此餘ドノ位マデ政府ガヤル積デアルカ、之ヲ改正スルニ就イテ御見込ガナイナラ承リマセヌ、アルナラ承リタイ

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答致シマス、唯今ノ百七十萬圓ト申シマスノハ、三十年度ノ豫算デアリマシテ、此後數年ニ、ドレ程マデニ獎勵金ヲ受ケル船ガ殖ユルカト云フコトハ、是ハホンノ推算デアリマスカラ、唯今此處デ推算ヲ御話シテ見タ所ガナニモナラヌト存シマスカラ、ツレダケヨリ御答スルコトハナイノデアリマス

(工藤行幹君出來ナケレバ仕方ガナイト呼ブ)

○波多野傳三郎君(二百六十三番) 規模ガ廣大ニ過ギルヤ否ヤト云フコトハ、既往ヲ推シテ將來ヲ察スルト云フコトニスルガ、一番明カデアラウト思ヒマスガ、昨年吾々ガ協賛シマシタル現行ノ獎勵法ト、此度政府ガ改正セントシテ出サレタモノトノ差ハ、種々アルヤウデゴザリマスルガ、要點ハ法律施行ノ年限ヲ十五箇年ト置カレタト云フコトハ、ツレカラ此獎勵スル金額ヲ、二十五錢ヲ二十錢ニ下ゲタト云フコトハ、ツレカラ噸數ガ六千噸デアッ

タノガ、四千噸ト云フコトニナツタ、此三ツガ重モナモノ、如クデアリマスルガ、果シテ現行法、即チ第九帝國議會ニ於テ吾々ガ協賛シタモノガ、廣大ニ過ギシヤ否ヤ、ト云フコトヲ推測シ得ル一端ハ何デアアルカト云フト、昨年吾々ガ協賛ヲシタル金額ハ、確カ三十七萬圓デアリシヤニ本員ハ記憶シテ居リマスルガ、此二十九年度ノ航海獎勵金ノ協賛ニナツタ所ノ三十七萬圓ト云フモノハ、最早二十九年度ニ盡キントスル——今日マデニ果シテ支出シ盡スト云フマデニ往ツテ居ルデゴザリマセウカ、支出シ盡シテ、尙ホ足ラヌト云フコトデアレバ、三十年度ニ吾々ガ協賛致ス百七十二萬圓ト云フモノモ、尙ホ足ラヌト云フコトデアレバ、推測ガ出來ラウト思ヒマス、斯クスレバ三十一年、二年、三年ト、年度ヲ逐フニ從ッテ、國庫ヨリ出ダス獎勵金ハ、如何ニモ廣大無邊ニナルガ故ニ、之ヲ改正シナケレバナラヌト云フ理由モ生シマセウナレドモ、二十九年度ニ於テ吾々ガ協賛シタリシ三十七萬圓ガ、若モ將ニ盡キントスルト云フコトノ反對ニ、未ダ大イニ殘ッテ居ルモノデアルト、政府ガ廣大ニ過ギルト見ラレルノハ、唯一ノ夢ニ過ギヌト云フコトニ相成デアラウト思ヒマスルガ故ニ、此既往ニ溯ッテ、昨第九議會ニ於テ協賛シタリシ此航海獎勵ト云フモノハ、今日ハ如何相成居ルカト云フコトヲ既往ニ溯ッテ承リマシテ、將來ヲ推測シテ、果シテ廣大ニ過ギルカト云フコトハ、吾々ガ推測ノ材料ニナシタイト思ヒマスルカラ、此事ヲ明ニ御答ヲ得タイト思ヒマス

(政府委員逓信省管船局長佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 波多野君ニ御答ヲ致シマス、二十九年度ノ後半期ノ獎勵金ニ充テマシテ三十萬圓弱デアルデス、即チ此年度ノ豫算ノ極ツテ居リマスノハ、ツレデ其金ハ二十七艘ノ船ニ就イテ積ツタモノデアリマシテ、其二十七艘中カラ、追々今日マデ検査ヲ受ケニ來マシタモノガ四五艘アルノデアリマスガ、マダ認許狀ヲ得マシタ船ハ一艘ヨリナイノデアリマシテ、ツレモヤウク近頃受ケタノデアリマスカラ、獎勵金ヲ受ケル航海ヲ漸ク今日始メタト云フ位デアリマシテ、豫算ニハ前申シマスル通、三十萬圓足ラズ金ハアルノデアリマスケレドモ、支出シタモノハ今日マダ一圓モナイノデアリマス、又此先キ廣大ニ過ギル過ギヌト云フコトノ判斷ハ、是ハ皆サンニ御任セシヤウヨリ外ハアリマセヌガ豫算ヲ支出シタ、シナイニ對シテノ御答ハ斯ノ通デアリマス

○金岡又左衛門君(百二十番) 此現行法デハ、即チ七百噸以上ノ船舶ガ獎勵金ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、其規模ガ廣大ニ過ギルト云フノデ、千噸以上ト云フコトニ改正ニナルト云フコトデアリマスガ、七百噸ト云フコトヲ目安ニシテ、既ニ海外ニ向ッテ、船舶ヲ七百噸若クハ九百噸ノ船ヲ注文シタモノガアルト假定シタナラバ、其者ガ此法律改正ノ結果ノタメニ獎勵金ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フ、即チ不慮ノ損害ヲ招クト云フコトガ、實地ニ於テアリハシナイカト云フ心配ガアリマスガ、若シサウ云フ者

ガアツトキニハ、當局者ハソレニ對シテハ、如何ナル處分ヲナサル、御見込デアリマスカ、但シハ又法律改正ノ結果トシテ、已ムヲ得ナイコトデアアルカラシテ、其者ニ對シテハ何等ノ處分ヲ與ヘナイ積デアアルカト云フコトヲ、一言御尋致シマス

〔政府委員 邊信省管船局長佐藤秀顯君演壇ニ登ル〕

○政府委員(佐藤秀顯君) 初ノ方ノ御尋ヲ承リ落シマシタガ、御面倒ナガラ、モウ一應伺ヒタイノデス

○金岡又左衛門君(百二十番) 此現行法デハ、七百噸以上ノ船ガ即チ航海獎勵法ノ獎勵金ヲ受ケルコトガ出來ルデス、所ガ、今此改正法律案ハ、千噸ト云フコトニナリマス、所ガ、或者ガ此現行ノ獎勵法ヲ目當ニ致シマシテ、九百噸ノ船ヲ今既ニ海外ニ注文シツ、アル、即チ其見込ハ航海獎勵金ヲ受ケルコト云フコトノ見込ヲ以テ買入レタモノデアアル、然ルニ今此法律ガ改正ニナツテ、千噸以上ト爲タタメニ、九百噸ノ船ハ獎勵金ヲ受ケルコトガ出來ナイコトニナリマス、サウスルト此法律ガ變ルタメニ、其者ガ大イナル損害ヲ受ケルコトガアルデアラウト思フ、其者ニ對シテモ、政府ハ別段處分シテヤラル、積デアアルカ、即チ其法律改正ノ結果トシテ、已ムヲ得ヌモノデアアルカラ、何等ノ處分ヲ與ヘラレナイカト云フコトヲ御尋スルデアアル

○政府委員(佐藤秀顯君) 分リマシタ、現行航海獎勵法デモ、千噸以上ト限ッテアルノデアリマスカラ、サウ云フ懸念ハナイノデアリマス

○議長(鳩山和夫君) 他ニ御質問ガナケレバ、次ノ日程ニ移ラウト考ヘマス、日程第十三

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○吉本榮吉君(二百五十六番) 特別委員ノ數ハ十八名トシ、選舉ハ議長ノ指名

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 其委員ハ十八名ニシテ、議長ノ選舉ニ委任スルト云フ勳議ガアリマス

〔贊成々々ト呼フ者多シ〕

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ其通決シマス、日程第十四ヨリ二十一マデハ、鐵道ニ關スル法律案デゴザイマスガ、同時ニ議題ト爲シテモ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ十四ヨリ二十一マデハ同時ニ議題ト爲シマス

第十四

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第十六 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)

第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第十八 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

第十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第二十 明治二十七年法律第十五號中追加法律案

(政府提出)
第二十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一 岐阜縣下多治見ヨリ岐阜ニ至ル鐵道

政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ本線ト中央線トノ管理ヲ統一スルノ必要ヲ認ムルトキハ其ノ建設實費ヲ以テ之ヲ政府ニ買收スル爲メ相當ノ條件ヲ附スヘシ

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一 岐阜縣下太田ヨリ高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道

一 富山縣下富山ヨリ新瀉縣下直江津ニ至ル鐵道

一 新瀉縣下新發田ヨリ山形縣下米澤ニ至ル鐵道線中新瀉縣下新發田ヨリ中保内ニ至ル鐵道

一 岩手縣下黑澤尻若ハ花卷ヨリ秋田縣下横手ニ至ル鐵道線中岩手縣下黑澤尻ヨリ秋田縣下横手ニ至ル鐵道

一 兵庫縣下姫路ヨリ生野若ハ笹山ヲ經テ京都府下舞鶴又ハ園部ニ至ル鐵道

若ハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線中兵庫縣下園部ヨリ同縣下谷川ニ至ル鐵道

一 廣島縣下廣島ヨリ島根縣下濱田ニ至ル鐵道

一 福岡縣下小倉ヨリ大分縣下大分宮崎縣下宮崎ヲ經テ鹿兒島縣下鹿兒島ニ至ル鐵道線中大分縣下大分ヨリ宮崎縣下宮崎ニ至ル鐵道

一 福岡縣下久留米ヨリ山鹿ヲ經テ熊本縣下熊本ニ至ル鐵道線中福岡縣下久留米ヨリ山鹿ニ至ル鐵道

鐵道敷設法中改正法律案

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第九條中「金六千萬圓」トアルヲ「金七千萬圓」ト改ム

明治二十七年法律第十五號中追加法律案

明治二十七年法律第十五號第三項福岡縣下飯塚ヨリ原田ニ至ル鐵道ノ次ニ左ノ條項ヲ追加ス

政府ハ前項鐵道線路一部ノ敷設ヲ私設鐵道會社ニ許可スル場合ニ於テ本線路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之ガ敷設ヲ爲ササルトキハ其ノ建設費ヲ以テ本鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ附スヘシ

○沼田宇源太君(二百七十九番) 此案ハ先キニ鐵道ノ諸法案ニ就キマシテ、十八名ノ特別委員ガ選舉シテアリマスカラ、アレニ付託サレンコトヲ希望致シマス、期日モ切迫シテ居リマスカラ、速ニ審査サレマシ

○恆松隆慶君(二百七十二番) 此會期ノ切迫ニ當リマシテ、斯ノ如ク其豫定線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案ヲ續々提出セラレマシタノハ、全體如何ナル急務ナリト政府ハ認メラレル所ノ理由ガアルカ、又是ハ私設會社等ヨリノ出願ニ促サレテ、已ムヲ得ズシテ是等ノコトヲ出サレタカト云フコトヲ第一ニ問ヒマス、其次ハ、第二ニハ、今日ノ如キ經濟社會ノ不活潑不景氣ニ遭遇シマシテ、之ヲ悉皆私設ニ許シマシテモ、十分是ガ成功スルト云フコトヲ、政府ハ確認シテ居ラレカ、ドウダカ、又第三ニハ、鐵道ハ全體國家的ノモノトシテ、國家事業トシテスベキモノナレドモ、確實ナ私設會社等ヨリ私設ヲ申出ストキニハ、是ハ許スコトモアルトセラレカ、此鐵道問題ハ、縱令豫定線アルト雖モ、自由問題トシテ、出願者サヘアレバ、成功ノ目的ノアルナイニハ拘ラズ、ドシ、私設ヲ許スト云フ所ノ政府ノ方針アルカ、其次ハ、第四ニハ、私設ニ許シマシテ、成功ノ見込ガアリトシマシタルトキニハ、其私設ヲ澤山御許シニナル箇所ニ就キマシテハ、十分調査ガセラレタ結果デ、此私設ノ社ニ許セバ間違ナイ、是ハ成功ガ遂ゲラレルモノト認メラレテ居ルカ、既ニ昨年私設ニ一旦許シタモノデモ、本年ハソレヲ更正シテ、私設法案ノ追加ナドヲ申出ルコトガ過日來段々アルデゴザイマス、此場合ニ斯ノ如ク鐵道ノ大切ナル事業ヲ私設ニ許シテ、其實效ノ取レ難イモノヲ、此議會切迫ニ之ヲ出サレハ、如何ニモ本員ハ疑ハシイガタメニ、此數箇ノ質問ニ就イテ、政府委員ノ意向ヲ承リタイト云フノデアリマス

(政府委員遞信次官男爵鈴木大亮君演壇ニ登ル)
○政府委員(男爵鈴木大亮君) 唯今御質問ノ事柄ガ、大分長イ事柄ヲ御述べニナリマシタガ、要スルニ私設鐵道會社ガ出願致シテ居ッテ、其出願ヲ許可シタナラバ、果シテ此鐵道ガ完全ニ落成スルト云フコトヲ、政府ガ認メテ居ッテ、此法案ヲ提出シタカ否ヤト云フ御問ノヤウニ承リマシタガ、就イテ其事ニ御答シマシタナラバ、御満足ニナラウト思ヒマスノデ、是ハ從來斯ウ云フ私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法案ヲ提出シテ居リマスノデ、能ク諸君ニモ御承知ニナツテ居ルコトヲ考ヘマシタノデ、改テ本案提出ノ理由

ヲ述べマセヌ次第デゴザイマシタ、今御尋デゴザイマスカラ、一應理由ヲ申上ゲテ置カウト考ヘマス、此敷設許可ノ件ヲ提出致シマスル線路ハ、必ズ私設會社カラ出願ニナツタモノニ限リマスノデゴザイマス、出願ノナイ場合ニハ、斯ウ云フ法案ヲ提出致シマセヌノデゴザイマス、ソレデ果シテ許可ヲ與ヘタナラバ、間違ヒナク建設シ得ルヤト云フコトニナリマスルト云フト、是ハ餘程其事情ヲ御話シマセヌトナラヌダラウト思ヒマス、デ先達モサウ云フコトニ就イテ御尋ガゴザイマシタカラ、一應申述べタヤウニ記憶ハ致シテ居リマスケレドモ、改メテ尙ホ詳ク御話ヲ致シテ置ク方ガ、御了解ニ御便宜ダラウト存ジマスカラ、モウ一應申上ゲルヤウニ致シマスガ、御承知ノゴザイマス通、是ハ必ズ敷設許可ヲスルト云フ譯デナシニ、許可スルコトヲ得ルト云フ法案ニナツテ居ル、今私設鐵道會社カラ願ガアル、就イテハ之ヲ許可スルコトガ出來ル、斯ウ云フ協賛ヲ求メルノデアアル、必シモ許可ヲスルト云フ方ノ趣意シヤナイ、ソレデ此協賛ヲ得マシタ以上、愈々其出願ニ對シテ許可スベキモノヤ否ヤト云フコトヲ、十分ニ調査ヲシマシテ、ドウ云フコトヲ許可スルカト云フト、假免狀ヲ交付スルノデ、假免狀ハ何等ノ效力ヲ有スルカト云ヒマスルト、其線路ノマア第一ニ測量ヲ致シマシテ、サウシテ其鐵道敷設ノ設計ヲスルト云フヤウナ順序ヲ經テ、愈々是ダケノ金額デ、ドウ云フ設計ヲシテ建設シヤウ、會社モ是ノ順序ヲ經テ創立シヤウト、假免狀ヲ貰ヒマシタ上デハ、斯ウ云フコトヲスルノデ、ソレガ果シテ暫ク置イタ所デ、私設鐵道條例ニ依ッテ本免狀ノ許可ヲ請フテ參ル、其時ニハ線路ノ實測モ出來マス、工事ノ設計モ、工費豫算等モ明カニナリマスカラ、政府デモソレニ對シテハ、果シテ創立シ得ルヤ否ヤト云フコトノ、確ナ見込ヲ付ケルコトガ出來ルノデアリマス、デ其場合ニナリマシテ、若シ不適當デアレバ、本免狀ヲヤリマセヌ、適當ノモノデアレバ、本免狀ヲヤルト、サウ云フコトニナリマス、ソレデ此假免狀ヲ與ヘマストキニハ、矢張期限ヲ定メテアリマス、例ヘバ十八箇月トカ、二十箇月トカ云フヤウニ、鐵道ノ線路ノ長短、又ハ其地方ノ難易ニ依リマシテ、適當ノ期限ヲ定メテ、假免狀ヲ交付シテ居リマスカラ、若シ其期限内ニ本免狀ノ出願ガ出テ參リマセヌトキニハ、假免狀ノ效力ハ自然ト消滅シテシマフ譯ニナリマス、シテ見タトキニハ、或ハ此敷設法中ノ線路デゴザイマスレバ、他日ソレヲ官設ニスルト云フ、又協賛ヲ議會ニ求メルヤウナコトニナルノデゴザイマスカラ、ソレデ此假免狀ヲ渡ス場合ニハ、必ズ鐵道ガ出來ルヤ否ヤト云フコトハ、未ダ斷定スルダケノ手續ヲ履ンデ居リマセヌノデゴザイマス、此場合デハ、必シモ出來ルト云フヤウナ、保證ノコトハ、政府カラ述べル譯ニハ行キマセヌ、手續ヲ申上ゲマス、斯ウ云フ譯デゴザイマス

○恆松隆慶君(二百七十二番) 尙ホ質問致シマス、私ノ問ハ極ク簡單デ、數項ニ分ツテ申シタノデアリマスケレドモ、唯今ノ政府委員ハ、掻イ擻ンダ御

答テ、ドウモ了解致シマセヌ、故ニ私ハ尙ホ進ンテ御尋ヲ致シマスガ、此許可ヲ得ルトアルカラシテ、願フ出シタトキニハ、是ダケノ途ヲ明ケテアルケレドモ、必シモ之ヲ與ヘナイト云フノハナイト云フヤウナコトニ取リマシマシ、此鐵道線路ノ中テ、私ガ實地承知シタ所ニ依ッテ御問ヲ致シマス、此條項ノ中デモ、廣島縣下廣島ヨリ島根縣下濱田ニ至ル鐵道ト云フノガ、是モ果シテ之ニ現レテ居リマス以上ハ、出願ヲ出シタデアラウト考ヘマス、此線路ニ就イテ、比較線路甲乙二社ニシテアルデアラウト思ヒマスガ、是ガ果シテサウ云フヤウナ理窟ニナツテ居リマスカ、又線路出願者ハ何レニ致シテモ、此廣島ヨリ島根縣下ノ如キハ、山陰道デアツテ、單ニ山陰ノ僻地デ、山ノミデアツテ、石見ト文字ニ書ク位デ、此所ニ私設ヲ許シテ、是ガ出來ルト云フ政府ノ認メハ如何ナルコトデアアルカ、縱令幾ラ金ガ掛ツテ、利益ガナイ鐵道デモ、其出願者ガアレバ、許セバ届クカ、ドウデアアルカト云フノデ、固ヨリ此鐵道ハ最モ軍事上ニ關係ヲ有シ、廣島ノ第五師團、濱田ハ更ニ兵營地ト爲リ、又天下ノ要所タル馬關トモ腹背相接シテ、極ク急要ノ鐵道デアアル、故ニ吾々ハ官設ヲ好シ、其私設ニ許ス、私設ニ許シテモ、假免狀ヲ下グレバ、一箇年トカ、十二箇月トカノ間ト云フノデ、其間ニ田舎ノ者ガ、知ラズ識ラズ證據金ヲ出スコトガアレバ、出シテ出來ナイ、所ニ金ヲ出シテ、田舎ノ正直ノ者ガ非常ニ迷惑ヲ致シ、遂ニ出來ベキ鐵道モ出來ナクシテ、中途テ止メルト云フヤウナ有様デ、サウシテ再ビ此問題ヲ又官設ニシヤウト云フヤウナコトニナレバ、往々計畫ヲ誤ルコトガアル、ツレハ此議會デモ既ニ望月君外四十何名デ、過日豫定線中鐵道改正追加法案ヲ提出セラレタヤウナ場合デ、斯ノ如キ至難ノ線路ヲ、出願者ガアルカラト云フテ、此處ニ付セラレタノハ、十分認メガアツテ、斯ウ云フ法案ヲ出サレタカ、ドウカト云フコトヲ、一應尙ホ確メタイ

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 御答致シマスガ、ツレハ今御尋ノハ、廣島カラ濱田ニ至ル線路デアリマスカ

○恆松隆慶君(二百七十二番) サウデス、其他モアリマスガ

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 是ハ御尋ノ如ク願ガ出テ居ル、デ御話シマシマヤウニ、假免狀ヲ交付シテ、サウシテ假免狀ヲ期限中ニ調査ヲ經テ出テ參レバ、ツレデ本免狀ヲヤルト、斯ウ云フコトニナルガ、望月君提出ノ改正案ニ、此線路ガ加ハツテ居ルト云フコトヲ御述ニナリマシタ、加ハツテハ居リマセウケレドモ、彼ハ其三十八年以後ノコトニナルノデスカラ、縱令此處デ提出シマセズニ、彼ノ案ノ如クナツタ所ガ、此線路ガ三十八年以後デナケレバ、著手スル譯ニ往キマセウケラ、今此處デ私設ノ假免狀ヲヤツテモ、事實何モ得失ヲ生ズル譯デハナカラウト思ヒマス、大抵ツレデ御了解デアラウト思ヒマス

○小鷹狩元凱君(百番) 政府委員ニ御尋致シマスガ、政府委員ハ之ヲ私設ニ

御許ニナリマスレバ、私設デ出來得ル見込デゴザイマセウカ、現ニ廣島カラ石見——石見デゴザイマセヌ、廣島カラ五里程參ルト、根ノ谷ト云フ所ガアツテ、阪ヲ上ガリマスル、ツレカラ阪ハ下リハナイ、マルデ上ボリデ、ツレカラ上ハ山又山デ、殆ド下リノナイ道デゴザイマシテ、決シテ隧道ノ出來ル地デハナイ、僅カ五里位ノ所ニ於キマシテハ、輟ク出來ルコト、私モ信シテ居リマスガ、ナカク、此線路ハ私設デ出來ルト云フヤウナ容易ナ道デハナイ、所ガ、政府デハ彼ノヤウナムツカシイ線路ニモ拘ラズ、是マデ御調査等ナクシテ、斯ウ云フ法案ヲ御出シニナツタノデゴザイマセウカト云フノガ、一ツノ御尋、ツレカラ今一ツハ、此線路ハ會社カラ私設ヲ願出デマスル如ク出來ルモノト致シテ、假ニ本免狀ヲ下ゲタルト致シマシタ所ガ、到底此線路ト云フモノハ、私ハ私設デハ出來得ナイモノデアラウト思ヒマス、サウスルト遂ニ三五里ノ間デ、僅ノ所ニ於キマシテ營業ヲスルヤウナ結果トナツテ、重モニ此線路ガ出來上ガリマスルト、濱田ヘハ兵隊モ置クコトデゴザイマスカラ、實ニ軍事上ニハ必要ナ線路デゴザイマスケレドモ、唯今申サウナコトデハ、僅カ四五里外出來ナイト云フ私ノ見込デアリマス、若シ私設ニ致シ掛ケマシテ、四五里ノ所デ、遂ニ私設會社ガ之ヲ先キマデ通スコトガ出來ナイ場合ハ、如何ニ御處分ナサリマスカ、此二點ヲ伺ツテ置キタイ

(政府委員遞信次官男爵鈴木大亮君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 唯今小鷹狩君ノ御尋ニ御答致シマスガ、此廣島カラ濱田マデノ線路ハ、私設鐵道會社デハ出來ナイト云フ御考ノヤウデアリマスガ、ツレハアナタノ御意見デアリマスカラ、何モ御話スル必要ハナカラウト思ヒマス

○小鷹狩元凱君(百番) サウ云フムツカシイ所デアアルガ、ツレモ御調べニナツテ此法案ガ出來タデアラウカト云フコトヲ、御尋シタノデアリマス

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 政府ハ全國鐵道調査ト云フモノ、中ニ加ツテ十分調査シテアルモノデ、必ズ鐵道ノ出來ル設計デアリマス、官設デ出來ルモノナラ私設モ出來ル、ツレデアナタノ出來ナイト云フ御考ハ、アナタ御一己ノ御意見トシテ……

○守屋此助君(百三十二番) 議長

○議長(鳩山和夫君) 守屋此助君

○小鷹狩元凱君(百番) モウ一ツ伺ツテ置キタイ

○守屋此助君(百三十二番) 私ガ發言權ヲ得テ居リマス、私ハ遞信省ヘ伺ツテ、政治家ノ德義トシテ問フコトガアル、ナンデアアルカト云フト、今日ノ議事日程ヲ見ルト、遞信省ガ此會期切迫ノ時ニ當ツテ、五ツ、六ツ、七ツ、是ダケノモノヲ御出シニナルノハ、遞信大臣竝ニ次官ガ御出席ニナツタラ、會期切迫ノ時ニ斯様ニ出スニハ、特別ナル理由ノ御説明ガアラネバナラヌ、政治家ノ德義トシテ、屹度其説明ガアルコト、私ハ侍ツテ居ツタラ、航海獎勵

法ニ就イテモ、會期切迫ノ時、アレ程重大ナモノヲ御出シニナリ、又唯今其理由ノ説明ヲ聽イテ見ルト、許可スルコトヲ得ル云々ト云フコトデ、實ニ緩慢ナ話デ、此會期切迫ノトキ、斯ウ云フモノヲ出サナケレバナラヌト云フコトノ説明ニハ相成リマセヌガ、此會期切迫ノトキニ斯ノ如キ澤山ナモノヲ御出シニナルニハ、政治家ノ德義トシテ、急速ヲ要スルト云フ理由ノ御説明ヲ願ヒタイ

(政府委員選信次官男爵鈴木大亮君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 如何ニモ會期切迫ノ折柄ニ、斯ノ如キ數ノ線路ヲ連ネテ協贊ヲ求ムルト云フノハ、誠ニ恐縮致ス譯デアリマス——ソレヲ前ニ御挨拶ヲ致シマセヌノハ恐入ツタ譯デアル、然ルニ已ムヲ得ヌノガアル、此岐阜縣下多治見ヨリ岐阜ニ至ル鐵道ト云フノガ、此頃漸ク兩院ヲ通過シタ線路デ、サウ云フ手續ヲ經マセヌト、此敷設計可ノ法案ヲ出スコトガ出來マセヌノデ、隨分是ハ遞信省モ出來得ルダケ急イデ居ツタガ、事實上已ムヲ得マセヌタメニ手後レニナリマシタ、此外ノ線路モ亦出願ニ對シテ調査ガ經マシタ以上、鐵道會議ヲスル、彼此ノヤウナ手續ガゴザリマスノデ、思ハズ淹滞致シマシタヤウナ譯デ、誠ニ恐縮ニ堪ヘマセヌ、切迫ノ場合、斯ウ云フモノヲ出スコトニナリマシタ、宜シク御了解ヲ願ヒマス

○恆松隆慶君(二百七十二番) 私ハ質問デハアリマセヌ、質問ヲ致シマシタ所ガ、到底政府委員ノ答辯ガ分ラヌ、是ハ委員會ヘ同ラナケレバナラヌモノデアリマスカラ、質問ハ致シマセヌ、是ハ先キニ沼田君ヨリ十八名ノ委員ニ付託ト云フコトデアリマシタ、此問題ハ十四ナリ十六ナリ、各箇ニ委員ヲ選ンデ、成ルベク公平ニ調査サレルト云フノガ、寧ろ本員ハ宜シカラウト考ヘマス、勿論十八名ノ先キノ御方ハ、鐵道ニハ御熱心ノ御方デ、是ニ任カシテ置ケバ差支ナイガ、會期切迫ノ今日デゴザリマスカラ、寧ろ各自ニヤツタ方ガ宜カラウト思ヒマス

(「贊成」ト呼フ者アリ「沼田君贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 一ツミニ採決シヤウト考ヘマス、第十五ノ委員デス、此委員選舉ハ更ニ選舉セズレテ、鐵道敷設法中改正法律案ノ委員ニ、第十四ノ議事日程ノ議案ヲ付託スルト云フ沼田君ノ動議、是ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、ソレカラ日程第十七ノ委員ハ、是モ矢張同一ノ委員ニ付託スルト云フ、是ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) ソレデハ其事ニ決シマス、日程第十九ノ委員、即チ第十八ノ日程ノ議案ヲ矢張同一ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ其通決シマス——日程二十一——二十ノ議案ヲ付託スベキ委員、是モ同一ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガアリマセヌカラ、其通ニ決シマス——ソコテ御報告申スコトゴザリマス

(田中書記官朗讀)

貴族院ヨリ送付セラレタル議案左ノ如シ

傳染病豫防法案

屯田兵土地給與規則中改正法律案

明治二十八年法律第二十六號改正法律案

貴族院ヨリ回付セラレタル議案左ノ如シ

保稅倉庫法案

特別委員長及理事左ノ通當選セラレタリ

煙草製造營業者煙草稅現金收納ニ關スル法律案

委員長

同理事

特別委員左ノ通指名セリ

阿片法案委員

協坂 行三君

江藤 新作君

佐竹 正詮君

株式會社十五銀行株式華族世襲財産ト爲スノ件法律案委員

秋岡 義一君

千葉禎太郎君

堤 猷 久君

重要輸出品同業組合法案委員

小畑岩太郎君

平岡浩太郎君

渡邊新太郎君

海上衝突豫防法中改正法律案委員

兵頭 昌隆君

津田嘉一郎君

航海獎勵法案委員

長谷川龜一郎君

中野 武營君

市島 謙吉君

和田彦次郎君

山田 泰造君

小鷹狩元凱君

金尾 稜嚴君

山田忠兵衛君

村上芳太郎君

小金井權三郎君

小川 虎一君

波多野傳三郎君

佐藤 里治君

橋本 省吾君

井上彦左衛門君

倉島 松男君

景山甚右衛門君

守屋 此助君

多田作兵衛君

小幡儼太郎君

大津淳一郎君

西村 禮作君

石田貫之助君

松本重太郎君

早川 龍介君

濱口吉右衛門君

武市 彰一君

南島 間作君

植田 理太郎君 橋本 久太郎君 石塚 重平君

井上 角五郎君 栗原 亮一君 江原 素六君

志波 三九郎君 谷河 尙忠君 田村 順之助君

阿部 興人君 室 孝次郎君 沼田 宇源太君

田口 卯吉君 松尾 寛三君 園 山 勇君

○金尾稜巖君(二百四十五番) 今日ノ日程ニアリマス……

○議長(鳩山和夫君) 其以前ニ少シ御諮リ申スコトガアルノデスガ、後トテ

宜シウゴザイマスガ

○望月右内君(二百八十七番) 議長

○議長(鳩山和夫君) 急用デスカ

○望月右内君(二百八十七番) 此多數ノ案ヲ付託サレマシタニ就イテハ、委

員會ヲ直チニ開キタイト思ヒマス、日ガ切迫シテ居リマスカラ、ドウカ直チ

ニ開キタイト思ヒマス

○議長(鳩山和夫君) 其前ニチヨット申シマスガ、委員ニ指名セラレタ諸君

ハ、成ルベク本日ノ御退院前ニ、委員長、理事ノ選舉ヲシテ、議長マデ御報

告アラシメテ望ミマス、既ニ退院杯セラレタリシテ、御通知漏ニナツテ居

ル人ガアレバ已ムヲ得ヌガ、今日揃ツテ居ラレル分ハ、何卒委員長、理事ノ

選舉ヲセラレンコトヲ望ミマス

○望月右内君(二百八十七番) ツレデハ私ノ述べマシタ委員會ノ方ハ、退席

致シテ宜シウゴザイマスガ

○議長(鳩山和夫君) 宜シイ

○望月右内君(二百八十七番) ツレデハ委員ノ御方ハ第一特別委員室ニ御退

席ヲ願ヒマス

○議長(鳩山和夫君) ツコデア一ツ御諮リ申スコトガアリマスガ、今報告中ニ

アリマシタ通、貴族院カラ保稅倉庫法案ガ回付ニナリマシタ、其第三十一條

ニ於テ、字句上ノ改正、文字上ノ改正ガアルダケデアリマス、此際日程ヲ變

更サレテ、之ヲ議題ト爲サレテハ如何カト思ヒマス

(異議ナシ異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ日程ハ變更サレマシテ、保稅倉庫法案ヲ議題ト

致シマス

保稅倉庫法案(政府提出貴族院回付)

○議長(鳩山和夫君) 字句上ノ修正ト云フノハ、三十一條ノ倉庫ト云フ上ニ

保稅ノ二字ガ加ルダケデア、後トハ皆保稅倉庫保稅倉庫ト云フコトニナツテ居

リマスノニ、此處バカリ倉庫ト爲ツテ居ルノデス

(異議ナシ異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ諸君ハ同意セラレタモノト認メマス

其通決定シマス

○金尾稜巖君(二百四十五番) 廣島縣下郡廢置法律案ト云フノガ日程ノ第二

十八ニ載ツテ居リマスガ、會期切迫ノ此際デアアルカラ、日程ヲ變更シテ此場合

ニ議シタイト云フ動議ヲ出シマス

(イケマセヌイケマセヌ)ト呼フ者アリ

○金尾稜巖君(二百四十五番) ツレデハ御諮リヲ願ヒマス、極簡單ノモノデ

スカラ……

○木村誓太郎君(百九十一番) 二十四ノ日程モ、唯今金尾君ノ動議ト同シク

御取計ヒヲ願ヒタイ

○議長(鳩山和夫君) 一緒ニ議ス譯ニハイカナイ、金尾君ノ日程變更ノ動議

ニ就イテ採決シヤウト思フ、日程二十八トシテ載セテアルモノヲ、此際議ス

タメニ日程ヲ變更スベシト云フ、是ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(鳩山和夫君) 少數ト認メマス、日程二十二、安藝國嚴島神社ハ保存

費補助ノ建議案

第二十二 (小鷹狩元凱君外十名提出)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス)

安藝國嚴島神社ハ保存費補助ノ建議案

安藝國嚴島神社ハ往古

推古天皇ノ御宇ニ創建セラレ其ノ歴史ヲ傳フル固ヨリ久シ殊ニ社殿宏壯ニ

シテ數十ノ攝社末社及巨大ノ堂塔之ニ附屬トシ各所ニ散布セリ而シテ全島

ノ山水明媚ナルカ爲古來日本三景ノ一ト稱セラレ内外國人ノ敬慕スル者尠

ナカラス實ニ東洋ノ一大偉觀ト云フヘシ然ルニ之カ維持保存ノ現狀ヲ願レ

ハ明治二十年以降向三十年間毎年國庫ヨリ金一千百十三圓ノ配布アリ内三

分五厘ヲ保存資本トシテ積置クニ止リ其ノ基礎未タ確立セシ是ヲ以テ此ノ

名社勝景モ數十年ヲ俟タス湮滅壞廢スルノ恐ナシトセサレハ右保存費トシ

テ國庫ヨリ金二十萬圓ヲ毎年金二萬圓ツ、十年間ニ補助セラレ此ノ東洋無

比ノ絶景ヲ永遠ニ保持スルノ道ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

○小鷹狩元凱君(百番) 簡單デゴザイマスカラ此處カラ申シマス、此建議案

ハ此間古社寺保存法案ガ出テ居リマスガ、ツレニ依ツテ必ズ此嚴島ヘモ、此

保存法ニ於テ保存ノ途ガ立ッコト、ハ存シマスガ、其法案ニ於キマシテハ、
 ドノ宮ガ幾ラ、ドノ寺ガ幾ラト云フコトガ區別シテナイモノデアリマスカラ、
 ドウカ能ク似タコトデアゴザイマスガ、是ハ此建議案通リニ採用セラレ
 ルコトヲ願ヒマスノデ、最早會期モ切迫シテ居ル今日デアリマスカラ、何卒
 即決ヲ以テ諸君ノ御可決アラシコトヲ希望シマス

○章刈親明君(百四十四番) 誠ニ御氣ノ毒デスガ、此案ハ提出者ニ撤回セラ
 レンコトヲ望ミマス、其理由ハ此間兩院ヲ通過シマシタ古社寺保存法案ト云
 フモノガアツテ、アノ中ニハ無論此嚴島神社ノ如キモ這入ッテ居ルニ相違ナ
 イ、然ルニ特ニ安藝國嚴島神社ニ限ッテ、彼ノ古社寺保存法案ガ兩院ヲ通過シ
 タ上ニ、尙ホ此建議案ヲ出サナケレバナラヌト云フ理由ハ見ルコトガ出來
 ヌ、既ニ兩院ヲ通過シタ法案ガアツテ、古社寺ノコトハ、既ニ衆議院ニ於テ
 モ其目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアアルカラ、其上ニ此建議案ヲ出シテ、安
 藝國嚴島神社ノ保存ノ法ヲ立テナケレバナラヌト云フコトハナイト信シマ
 ス、要スルニ今日ハ古社寺保存會ト云フモノモアリ、旁々以テ本案ハ無用ノ
 モノトシテ撤回アラシコトヲ望ミマス、若モ撤回セラレヌコトナレバ、反對
 シテ否決アラシコトヲ望ミマス

○小西甚之助君(二百九十三番) 私モ固ヨリ章刈君ト同感デアツテ、之ヲ撤
 回サル、ナラバ何ニモ申シマセヌガ、今章刈君ノ言葉ニ依ルト、撤回ハシナイ
 ヤウニ見エマスカラ、遺憾ナガラ反對ヲスルノデアアル、而シテ此反對ハ、決
 シテ嚴島ニ鎮坐スル所ノ嚴島神社ニ補助スルコトハイケナイ、補助スベカラ
 ズト云フコトデアハナイノデ、本員ト雖モ決シテ此海中ニアル嚴島神社ガ、歴
 史ノ上カラ考ヘテモ、風景ノ上カラ見テモ、此補助ト云フモノヲシナケレバ
 ナラヌコトハ、決シテ疑ハザルモノデアアル、殊ニ廣島議會ニ於テ補助ノ必要
 ハ信シテ疑ハザル者デアアルガ、サリナガラ既ニ本員ノ言ハントスル所ハ、章
 刈君ヨリ之ヲ申サレマシタガ、古社寺保存法ト云フモノガ、本院ヲ通過シタ
 モノデアツテ、又彼ノ古社寺保存會ト云フモノモアル、此古社寺保存會ト云
 フモノハ誰ガ拵ヘタカト云フト、政府ガ拵ヘタカト云フモノデアアルガ、衆議院ガ建
 議シテ成立シタモノデアアル、然ラバ此神社ニ向ッテ「無用々々」「モウ宜シイ」
 「分ッタ分ッタ」ト呼フ者アリ、幾ラノ金ヲ幾ラノ年間補助シヤウト云フ如キ
 コトハ、此古社寺法ニ讓ラナケレバナラスコト、又古社寺保存會ニ讓ラナケ
 レバナラヌコト、思フ、一方ニハ古社寺保存法ガアリ、一方ニハ古社寺保存
 會ト云フモノガアルカラ、其上ニ尙ホ是ニ據ラナイデモ宜シイ、若シ之ヲ出
 ストスレバ、續々斯様ナモノガ皆建議シナケレバナラヌト云フコトニナラウ
 ト思ヒマスカラ、本案ニ對シテハ反對ノ意見ヲ持ッ者デゴザイマス

○議長(鳩山和夫君) 採決シマス、本案ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 少數
 ○議長(鳩山和夫君) 少數ト認メマス、否決シマシタ、日程第二十三、裁判
 所構成法中改正法律案

第二十三 裁判所構成法中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

(鈴木充美君外一名提出)

○木村格之輔君(二百十三番) 諸君、本案ニ就キマシテノ委員長及理事ノ選
 舉ハ、過日御報告致シタ通デアリマス、本月十七日ニ委員會ヲ開キマシテ、
 第一ニ政府ノ意向ヲ確メマシタ所ガ、政府ノ答ニハ、本案ハ法律ノ進化デア
 ルカラ、先ヅ美法デアルトハ認メルケレドモ、反對スルノデアアル、其反對ス
 ルノ理由ハ、議事規則ノ制定ガナクテハ、之ヲ實行スルニ差支ヘルノデアアル
 ト云フト、又若シ之ヲ實行シマシタナラバ、當事者モ立會ハナケレバナラ
 ヌノデアアラウ、又檢事、辯護士モ立會ハナケレバナラナイデアアラウ、故ニ從
 テ事務ノ滯滞ヲ來ス虞ガアルカラ、是レ亦同意スルコトガ出來ナイト云フノ
 デ、尙ホ若シ之ヲ實行シマシタナラバ各裁判官ガ蔭デ既ニ取極メテ、形式的
 ニ議事ヲ開クト云フコトニナリハセヌカト云フ、概略三點ノ理由デ、同意ガ
 出來ヌト云フトデアツタガ、緩々討論審議ノ末、議事規則ハ裁判長ガ整理
 スルノデアアルカラ差支ナイ、又事務滯滞ヲ來ス恐ハナイモノデアアル、又今日
 ニ裁判官ガ蔭デ評議シテ、形式的ニ會議ヲスルガ如キ裁判官ハナイノデアアル
 ト云フ理由ヲ以テ、全會一致デア可決シタノデアリマス、會期モ切迫シテ居リ
 マスカラ、讀會ヲ省略シテ、委員會ノ可決ヲ是認セラレンコトヲ希望致シマ
 ス

○議長(鳩山和夫君) 讀會省略ノ動議ガアリマスガ、異議アリマセヌカ
 (異議ナシ)ト呼フ者アリ
 ○議長(鳩山和夫君) 然ラバ、讀會ハ省略セラレマシタ、朗讀ヲ省イテ、全
 部ヲ議題トナシマスル、御異議ガナケレバ、可決シタモノト認メマス

裁判所構成法中改正法律案(鈴木充美君外一名提出) 確定議
 (異議ナシ)ト呼フ者アリ
 ○議長(鳩山和夫君) 本案ハ是デ確定シマシタ、日程二十四、登録稅法中改
 正法律案 小西甚之助君

第二十四 登録稅法中改正法律案(齋藤 第一讀會ノ續(委員長報告))
 (小西甚之助君演壇ニ登ル)
 眞輔君外八名提出

○小西甚之助君(二百九十三番) 本案ニ於ケル委員會ノ模様ヲ報告致シマス

ガ、其前ニ當テ議長ニ報告誤ガアリマスカラ、御手數ナガラ御正シテ願ヒマス、先ツ第一ニ委員報告ノ四項マデ、ゴザイマス、第五條二項トアル、二項ノ上ニ「第」ト云フ一字ヲ落シタノデアリマス、次ハ同項中デ「第十三項」トゴザイマスモノハ「第十二項」ノ誤デゴザイマス、即チ第十二項ヲ除クト云フノハ「サウジヤナイ」第十三項ヲ除ク」ト云フノハ「第十二項ヲ除ク」ト云フノ誤デアリマス、次ニ五項目以下ニ、斯ノ如クナルモノヲ誤テ報告ヲ致シマシタモノデアリマスカラ、正誤シマシタモノヲ朗讀致シマス「同條第九項ヲ刪除シ第十項第十一項ヲ繰上ケ更ニ左ノ三項ヲ追加ス十一低價年期中付與地價千分ノ一十二地租條例第二十二條ノ地價ノ設定地價千分ノ一、十三地價ノ復舊地價千分ノ一」是デゴザイマス、斯ノ如ク修正ヲ致シマシタノデゴザイマスガ、極ク簡單ニ其理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、先ツ第一ニ、原案ニハ施行期限ハ書イテナイノデゴザイマス、サリナガラハ是非施行期限ヲ書カナケレバナラヌ、故ニ委員會ニ於キマシテ「明治二十九年法律第二十七號登録稅法中左ノ通り改正シ明治三十年四月一日ヨリ施行ス」斯ノ如ク致シマシタ、其施行期限ヲ擧ゲナケレバナラヌト云フコトハ、先キニ當院ヲ通過致シマシタ所ノ登録稅法中ニ刪除法律案、是ニハ明治三十年四月一日ヨリ施行スルト云フコトニ、施行期限ヲ書イテゴザイマスガ故ニ、本案モ亦登録稅法中ノ改正デアリマスカラ、斯ク書カナケレバナラヌトシタノデアアル、サウシテ第二ハ、原案第五條ノ但書ヲ加ヘヤウトスルノデアアル、其但書ハ「天災地變ニ依リテ異動ヲ生シ登録スルモノハ此限ニ在ラス」ト云フノデゴザイマスカ、委員會ニ於キマシテハ、彼是審議ノ未、此但書ハ加フルニ及バヌト云フコトニ決定致シマシタ、其加フルニ及バヌト云フノ決定ハ、如何ナル理由デアルカト云ヘバ、此但書ヲ加フルノ必要ガナイ、此但書ヲ加フルトモ、決シテ實際ニ於テ之ヲ適用スル場合ガナイ、是ガ即チ此但書ヲ加フルニ及バヌトシテ、決シタ理由デゴザイマス、試ニ現行法ノ第五條ニ掲ゲテアル所ノ一ヨリ十一マデノ、此列記ノ各項ヲ見マシテモ、天災地變ニ依テ生ズル異動ト云フモノハ、少シモナイノデアアル、此天災地變ニ依テ生ズル異動ヲ登録シナケレバナラヌト云フコトハ、少シモナイトシマスレバ、是ハドウシテモ除カナケレバナラヌ、併ナガラ或ハ此現行法第五條ノ第九項ニアル所ノ、低價年期中ノ付與ヲ以テ、或ハ天災地變ニ依テ生ズル異動ノ登録デアルト、斯ク云ハル、カモ分ラナイケレドモ、元來此低價年期中ノ付與ナルモノハ、地租條例ノ第二十一條ニ依リマスレバ、先ツ荒地年期中ノ處分ヲ受ケル同様に、其荒地年期中ノ處分ヲ受ケテ、其年期中ニ當テ、其中ノ現況ガ元ノ地價ニ復シ難イトキニ、始テ起ル所ノモノガ低價年期中デゴザイマス、故ニ其低價年期中ノ原因ハ、全ク荒地處分デアアル、而シテ荒地ノ原因ガ天災地變デアアルガ故ニ、此低

價年期中ノ付與カラ見レバ、天災地變ハ如何ニモ原因デアアルカナレドモ、直接ノ原因デナク、間接ノ原因デアアル、決シテ但書ノ「天災地變ニ依リ異動ヲ生シ登録スル云々」ト云フモノニ當テラナイモノデアルト云フコトデ、全ク之ヲ除イタ、之ヲ要スルニ、但書ニ依テ生ズル後トニ登録スベシト云フ規定デ、登録稅法ニ少シモナイノデゴザイマス、次ハ原案ノ第五條二項ノ地價ノ設定トアル、其下デ「復舊共」ト云フ三字ヲ除クト云フノデアアル、委員會モ之ヲ除クコトニハ異論ハナイガ、委員會ハ之ヲ除クト同時ニ、尙ホ「第十二項ヲ除ク」ト云フ七字ヲ加ヘルコトニ致シマセウ、而シテ「第十二項ヲ除ク」ト云フ三字ヲ除クコトニ就キマシテハ、此復舊ニ係ル所ノ一ツノ號ハ、之ヲ先キニ回シテ、サウシテ稅率ヲ安クシヤウト云フノデアリマス、ソレハ便利ノタメニ、其事ノ理由ヲ述ブルコトニ致シマセウ、而シテ「第十二項ヲ除ク」ト云フ七字ヲ加ヘテ、地價ノ設定ノ中ヨリ之ヲ取除イテ、稅ヲ輕クシヤウト云フモノハ、故アルコトデゴザイマスガ、是レ亦向フノ方ヘ行ツタ時分ニ、其稅ヲ輕クシナケレバナラナイ理由ヲ述ブルコトニ致シマシテ、唯茲ニ地價ノ設定ト云フモノ、下ニ「第十二項ヲ除ク」ト云フコトヲ加ヘタ譯ダケヲ申シテ置キマス、一體地價ノ設定ハ、一ツノ種類ガアルト思ヘルノデアアル、一ハ開墾其他ノ理由ニ依テ新ニ定ムル所ノ地價デアアル、言ハハ利益ニ依レル地價ノ設定ト申シテモ宜ウゴザイマセウ、モウ一ツハ低價年期中ニ至ツテ、尙ホ元ノ地價ニ復シ難キモノ、又ハ荒地免租年期中ニ至ツテ、元ノ地目ニ復シナイデ、他ノ地目ニ變ジタトキニ、其時ノ現況ニ依テ、地價ヲ定ムルコトニナツテ居ル、即チ地租條例第二十二條ニ於テ、此地租條例第二十二條ニ據ルガ如キ地價ノ設定ハ、即チ言ハハ損害ニ因レル地價ノ設定ト云フコトモ宜イコトデアアル、然ラバ地價ノ設定ニハ、一ハ利益ニ因レル地價ノ設定、一ハ損害ニ因レル地價ノ設定ト、斯ノ如ク分ルコトガ出來ルノデアアル、然ルニ此二ツノモノヲ、共ニ一稅率ノ下ニ於テ課稅ヲスルト云フコトハ、如何ニモ權衡ヲ失スルコトデアアルガ故ニ、利益ニ因レル地價ノ設定ハ、現行法ノ如ク、地價千分ノ十ト云フモノヲ以テ稅率トスルコト、シテ、而シテ此地租條例第二十二條ニ據レル、即チ損害ニ因レル地價ノ設定ノ如キハ、之ヲズツト輕クシヤウト云フ考カラシテ、茲ニ「第十二項ヲ除ク」ト云フ七字ヲ加ヘタ譯デゴザイマス、次ハ同條ノ九「地價千分ノ一ヲ千分ノ五トス云々」ト云フコトカラ、總テ其先キニアルモノハ、一切之ヲ先刻朗讀致シマシタ如クニ修正ヲ致シタノデゴザイマス、其修正ノ譯ハ、全ク十一、十二、十三トシテ、新ニ號ヲ設ケマシタ、其理由ヲ述ベマシタナラバ、則チ十分デアラウト思フノデゴザイマス、先ツ十一號トシテ、低價年期中ノ付與ナルモノノ地價千分ノ一ト致シマシタノハ、全ク他ノ理由デアハゴザイマセウ、低價年期中ナルモ

ノハ、先ヅ其初ニ於テ、荒地免租ノ處分ヲ受クルノデアアル、而シテ此荒地免租ナルモノハ、如何ナル理由ニ因ルカト云フト、即チ天災地變ニ因リタルモノデアアル、然ラバ此低價年期ノ付與ヲ受クルマデニハ、一度ハ天災地變ト云フモノ、損害ヲ受ケ、再ビハ此低價年期ヲ受クルマデニ地方ヲ復スルタメニ、非常ノ努力ト非常ノ經費トヲ入レテアルモノデアアル、故ニ最モ憫諒スベキ事情ノアルモノデアアルガ故ニ、此低價年期ノ付與ハ、其登錄稅ヲ先ヅ減シテ、地價千分ノ一二致シタ譯デアアル、次ハ地租條例第二十二條ノ地價ノ設定デアリマス、是ニ其端緒ヲ開イテ居ルガ如ク、元來此地價ノ設定ハ、損害ニ因レル地價ノ設定デアアル、或ハ低價年期以內ニ尙ホ元地價ニ復シ難キモノ、或ハ荒地免租年期明ニ當ツテ、元地目ニ復シ難キモノハ憫ムベキ事情ヲ有シテ居ルモノデアリマス故ニ是モ地價千分ノ一トシタ譯デアリマス、次ハ地價ノ復舊デアアル、此地價ノ復舊ナルモノハ、是亦憫ムベキ事情ヲ持ッテ居ルモノデアリマス、地租條例第二十一條、是ニ據ッテ低價年期ヲ定メテ、サウシテ年明ニ至ッテ、元地價ニ復スルト云フガ如キモノハ、頗ル憫ムベキモノデ、是亦減シテ地價千分ノ一ト致シタ譯デアリマス、是ハ即チ明治二十九年法律第二十七號登錄稅法中ノ改正ニ對スル所ノ委員會ノ意見デゴザイマス、尙ホ御質問ガゴザイマスレバ、御答申スコトニ致シマス

○岡田良一郎君(百八十番) 委員長ニテヨト質問ガゴザイマスガ、此「天變地變ニ因リ異動ヲ生シ登錄スルモノハ此ノ限ニ在ラス」ト云フノヲ削除ニナリマシタノハ、至極御尤ノヤウデアリマスガ、然ルニ實際今日各登記所ニ於テ、稅ヲ取ル所ヲ見マスレバ、例ヘバ田地ノ區劃ヲ改正シマス、其區劃ヲ改正シタガタメニ、一筆毎ニ増減ヲ生シテ、臺帳ノ訂正ヲスレバ、登記所ニ於テ登錄稅ヲ取ル、然ルニ此登錄稅法ニ據リマス、所有權若クハ此地價ノ設定ト云フヤウナコトガ規定シテゴザイマシテ、サウ云フモノニ就イテ取ルベキ答デナイケレドモ、併ナガラ段別ノ増減ト云フコトガ、第五條ノ十二ニアル、段別ノ増減ト云ヒマスレバ、例ヘバ天災地變ニ因テ、一段歩ノ地面ガ五畝歩荒レタ、後ト五畝歩ホカ殘ツテ居レバ、即チ一段歩ガ五畝歩ニ減シタ所ノ異動ヲ申出ツルト云フト、即チ地價千分ノ五ヲ取ルヤウナコトニナツテ居ル、ソレテ定メシ提出者モ之ヲ憂ヘテ出サレタモノト思ヒマスガ、委員長ノ報告ノ通、是ハ固ヨリ取ルベキモノデナイト云フ方針デアアルナレバ、則チ此修正ハ適當デゴザイマスケレドモ、田地ノ區劃ヲ改正致シタ、ソレニ對シテ登錄稅ヲ取ル、ソレハ本來取ルベキモノデナイト思フガ、地方ニ於テハ之ヲ取ツテ居ル、因テ其邊ノコトハ御確メニナリマシタカ、一段歩ノモノガ五畝歩荒レテ、五畝歩殘ツテ、段別ニ増減ヲ生シタトキニ、此第五條ノ十項ヲ用ヒルヤウナコトガアリマセヌカ、ドウカ之ヲ承リタイ

○小西甚之助君(二百九十二番) 委員ニ於キマシテハ、政府委員ニ確メマシテ、政府委員ニ於テハ、決シテ天災地變ニ因テ異動ヲ生シタ場合ニ於テ、登錄スルト云フコトハ、少シモナイト云フ答辯ヲ得タノデゴザイマス、サウシテ委員會ニ於テハ、但書ハ然ラバ最早設クルノ必要ナイト云フ所カラ、除クコトニ致シタデアリマス

○齋藤長輔君(二百四番) 今ノ御答辯ハ、チツト違ッテ居ルコトガアルヤウデスカラ、聊私カラ述ベヤウト思ヒマス、其政府委員ノ天災地變ノタメニ登錄スルモノガナイト云フノハ、唯ナイト云フノデナクシテ、地租條例ニ據ッテ處分スルモノニハ、ナイト云フノデアアル、租稅特別處分法ノ低價年期ヲ與フルニ就イテハ、斯ウ二ツニ分ツテ居マス、御承知ノ如ク登錄稅法ノ五條ノ九デゴザイマスガ、低價年期ノ付與ト云フモノガゴザイマス、登錄稅ハ租稅特別處分法ノ低價年期ヲ與ヘマシタ時分ニハ、其他價金ニ對シテ先ヅ地價千分ノ一ヲ納メ、復舊スレバ又納メルト、二度登錄稅ヲ納メルト云フノデゴザイマス、ソレデ此規程ヲ別段ニナス上ハ、アノ但書ハ必要トシテ十三號ヲ箴メマシテ、但書ヲ除イタノデゴザイマス、序デニ諸君ノ御參考ニ一應復舊スル所ヲ申上ゲマスガ、地租條例ノ荒地免租ト云フコトニナリマシテ、例ヘバ地價金四百圓ノ者ハ、一箇年ノ免租金方十圓デゴザイマス、復舊シマシテ四圓ノ登錄稅ヲ納メマス、其實低價年期ニ當ルノデアアル、何トナレバ十圓ノ免租ヲ受ケテ四圓ヲ納メレバ、六圓ヲ許サレルノデ、取モ直サズ六割ノ低價年期ニナツテ居ル法律ノ地租條例ノ條項トハ矛盾シテ居リマス、其餘例ハ澤山アリマスルガ、假ニ五箇年ノ荒地ト云フコトニナツテ六箇年目ニ之ヲ復舊シマス、又十圓納メマスニ依ツテ、九割二分ノ即チ低價年期ニ當ルノデ、免租ト云フ事ハ名アツテ其實ガナクナルノデゴザイマス、ソレカラ低價年期ノ付與ニ就イテハ、御參考ノタメ三段ニ分ケテ聊御話致シマセウガ、低價年期一箇年ノ付與トナリマス、地價金四百圓ノ一割一箇年ノ附與トナルト、地價金ガ三百六十圓ト爲ツテ、又免租金ガ一圓、其低價年期ヲ言付ケラルル時分ニ、現在ノ三百六十圓ノ地價金ニ對スル千分ノ一デゴザイマスカラ、三圓六十錢納メナケレバナラヌ、翌年之ヲ復舊シマス、元ノ四百圓ニナルカラ四圓納メナケレバナラヌ、スルト七圓六十錢納メル、其免除金ハ何ホカト云フト、唯一圓ト云フタメニ、願ッテ却テ自分カラ六圓六十錢ノ錢ヲ出シテ、サウシテ致サナケレバナラヌト云フノ結果ニナルノデス、併ナガラ一割一箇年ト云フコトハ、是ハ極端ナ場合デゴザイマセウカラ、引換ヘマシテ三割三箇年ノ所デ御話致シマス(「分リマシタ」ト呼フ者アリ)三割三箇年ニスルト九圓ノ免租デゴザイマスガ、九圓許サレタト思フテ、漸ク二圓二十錢シカナイ、實ニ是ハ法律ノ不備ト考ヘマスカラ、此提案ヲ致シタ譯デアリマ

ス、宜ウゴザイマスカ
○波多野傳三郎君(二百六十三番) 此次ノ日程モ同時ニ議事ニ付セラレシコトヲ希望致シマス、其譯ハ委員會ノ報告ヲ見マス、廣住君カラ提出シタ案ハ、否決ト云フコトニナツテ居ルガ、是ハ蓋シ過日政府カラ出シタ土地區劃ニ對スル法律案ガアリマス、此精神ハ區劃ノ改良ノタメノ登錄稅ヲ取ラヌト云フ事ニ了解シテ、之ヲ否決シタノデハナイカト思フ、然ルニ念ノタメニ本員ガ政府委員ニ問フタトキニ、政府委員ハソレハ相當ノ登錄稅ハ——第五條十一分裂、若クハ合併相當ノ登錄稅ハ取ルモノト思フト云フ答ヲシテ居リマスカラ、是ハ同時ニ議事ニ附シテ、十分ナ改良ヲ致シタイト思ヒマスカラ、其事ヲ望ミマス

○議長(鳩山和夫君) 波多野君カラ御説ガアリマスガ、次ノ日程ニアルノハ、提出者カラ其日程ニ入ルトキニ撤回スルト云フ御話ニナツテ居リマス、ソレ故ニ別々ニ議サレタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○岡田良一郎君(百六十番) 唯今波多野君ノ御説ガゴザイマシテ、又議長ノ……

○議長(鳩山和夫君) 質問デゴザイマスカ
〔採決々々〕ト呼フ者アリ

○岡田良一郎君(百六十番) 此次ノ日程デスガ……

○議長(鳩山和夫君) 次ノ日程ハ議題ト爲ツテ居リマセヌ

○岡田良一郎君(百六十番) 併シ是ト關聯シテ居リマス〔採決〕ト呼フ者アリイヤ、サウハ往カヌ……

○議長(鳩山和夫君) 日程ニナツテ居ラヌモノニ就イテハイケマセヌ、同時ニ議スルナラ、同時ニ議スルト云フ動議ヲ御起シニナレバ採決シマス

○岡田良一郎君(百六十番) 此天災地變ニ就イテ……

○議長(鳩山和夫君) 岡田良一郎君ニ發言ハ許シテアリマセヌ「明治二十三年法律第二十七號登錄稅法中左ノ通り改正シ 明治二十年四月一日ヨリ施行ス」是ガ委員會ノ修正デゴザイマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス——トシテ誤リヲ致シマシタ、御詫ビヲ致シマス、是ハマダニ讀會ニ這入ツテ居ラヌノデゴザイマス、本案ニ讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ求メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔直チニニ讀會ヲ開キタイ〕贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 直チニニ讀會ヲ開クト云フ動議ガアリマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 異議ナケレバニ讀會ヲ開クコトニ致シマス

登錄稅法中改正法律案(齋藤良輔君外八名提出) 第二讀會
〔直チニニ讀會モ合セテ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) ドウデス、僅カデスカラ此順デ參ッテハ如何デス、先ヅ委員會ノ報告ニ就イテ採決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 凡テ同時ニ採決シテモ異議アリマセヌカ

○波多野傳三郎君(二百六十三番) 同時ニ採決セラル、ト云フコトデアアルナラバ、本員ハ此十三ト云フ後ニ今一ツ項ヲ加ヘテ「畦畔境界ノ爲ニ反別地價ノ異動地價千分ノ一」ト云フモノヲ加ヘルト云フ動議ヲ提出シマス、ソレハ何ンデアアルカト云ヘバ、前ニ述ベマシタ如ク、土地區劃ノ改良ニ關シテハ、登錄稅ハ取ラヌダラウト思フト取ルノデアアル、サウスルトアノ法律ガ折角ニ施行セラレテモ、登錄稅ノタメニ其目的ヲ達スルコトガ出來ヌト云フコトニナル、本員ノ考デハ取ラヌノガ相當デアアルト思フガ、本員ハ已ムナク千分ノ一ト云フ此一項ヲ加ヘルト云フ動議ヲ提出シマス

〔採決〕ト呼フ者アリ

○齋藤良輔君(二百四番) チョット其事ニ就イテ直キ分ルコトデスカラ……

○議長(鳩山和夫君) 今ノ波多野君ノ説ガ議題ニナツテカラ述ベラレテハ如何デスカ、二十名ノ贊成ガナケレバ議題ニナリマセヌ——波多野君ノ修正動議ハ贊成ガアリマセヌ、二十名ノ贊成ガアリマセヌカラ、議題トナリマセヌ、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、即チ委員會ノ修正通決シマシタ、是デニ讀會ハ終リマシタ

〔直チニニ讀會ヲ開カレタシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 直チニニ讀會ヲ開クコトニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 直チニニ讀會ヲ開クコトニ致シマス

登錄稅法中改正法律案(齋藤良輔君外八名提出) 第三讀會
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 御異議ナケレバ是デ確定シタモノト認メマス、次ノ日程ニ移リマス、第二十五、登錄稅法中改正法律案

第二十五 登錄稅法中改正法律案(廣住久道君 外一名提出) 第一讀會ノ續

○廣住久道君(二百二十番) 私ハ此案ヲ撤回致シタイ、登錄稅法中改正法律案ヲ提出シテ置キマシタ、其後政府カラ土地區劃改良ニ係ル、法律案ヲ提

出セラレマシタ、其法律案ニ依リマス、土地ノ區劃及駐畔ト云フモノハ、十分ニ改良ヲセラレ、其改良ヲ致ス箇所ハ、ドノヤウニ改良ヲ致シテモ、登録税法ト云フモノニハ關係ナク出來ルコトニナリマシタノデアリマス、既ニ其土地區劃改良法案ト云フモノモ本院ヲ通過致シマシタ次第デアリマスカラ、私が提出ヲ致シマシタ所ノ目的ハ、十分實行シ得ラル、コトニナリマシタ、茲ニ前提出致シマシタ所ノ法案ノ撤回ヲ致シマス

○議長(鳩山和夫君) 唯今提出者カラ此案ノ撤回ヲシタイト云フ申出ガアリマスガ、諸君ニ於テ御異議ガナケレバ撤回サレルコトニ致シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) ソレデハ、本案ハ撤回セラレマシタ——次ノ日程二十六ハ、委員長ヨリ、延シテ明日ノ日程ニ載セラレタイト云フコトデアリマスガ、異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○小坂善之助君(五十四番) 成ルベク委員長ガ不在デアッタナラバ、委員カラデモ報告ニナルヤウニ致シタイデス

○議長(鳩山和夫君) 委員長カラ書面ヲ以テ、明日ノ日程ニ載セラレタイト云フ請求ヲシテ参リマシタ、議場ガ御許ニナレバ、明日ノ日程ニ載セルコトニ致シマス、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) ソレデハ、明日ノ日程ニ載セルコトニ致シマス——日程第二十七、離島航海補助費ニ關スル建議案

第二十七 離島航海補助費ニ關スル建議案(島村成達君外四名提出)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

離島航海補助費ニ關スル建議案

現今離島ノ運輸交通ハ實ニ其ノ不便ヲ極メ人民ノ困難ヲ感スル少カラサルヲ以テ政府ハ深ク其ノ情況ヲ審覈シ年々適當ノ補助金ヲ支出シ各離島ト本州間及對馬島ト朝鮮國釜山間ノ航路ヲ自由ナラシメサルヘカラスト信ス依テ先ツ左ニ列記ノ航路ニ對シ政府ハ航海補助費豫算ヲ立テ速ニ提出アラムコトヲ望ム

- 一 對馬壹岐博多間及對馬釜山間
- 一 五島長崎間
- 一 隱岐境間
- 一 鹿兒島縣下大島郡各離島間

右及建議候也

〔大島信君演壇ニ登ル〕

○大島信君(六十一番) 諸君、私ハ此建議案ノ提出者ノ一人デゴザイマスカラ、建議ヲ致シマシタ理由ヲ申述ベテ、諸君ノ贊成ヲ仰ガウト思ヒマス、一體此問題ハ、誠ニ些細ナ事柄デゴザイマシテ、諸君ノ御耳ヲ煩シマスルノモ、甚ダ御氣ノ毒ニ存シマスケレドモ、其事柄タルヤナカク棄置カレナイ故ニ已ムヲ得ズシテ本案ヲ提出シタ所以デアアルノデゴザイマス、極簡單ニ申述ベヤウト思ヒマス、一體此建議案ハ皆様ノ御覽下サレマシタ通ニ、各離レテ居リマスル島々ニ、航海補助費ヲ與ヘヤウト云フノガ、是ノ趣旨ニナッテ居ルノデゴザイマス、ト申シマスルモノハ、此處ニ掲ゲテゴザイマスル各島々ハ甚ダ航海ガ不便デゴザイマシテ、ソレガタメニ今日此文明社會ノ有様デアリナガラ、甚ダ其交通ガ不便デアッテ、ソレガタメニ其島々ノ人民ハ、大イニ不便ヲ感ジテ居ルト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、一體此國運ガ大イニ進歩致シマシテ、文明モ大イニ進ンデ居ル、國モ大イニ發達致シテ居ルト云フ今日ニ於キマシテ、我國内ニ於テ、斯ノ如ク交通上ノ不便ヲ感ジテ居ルト云フ人民ガアル以上ハ、誠ニ是ハ憐ムベキコトデアッテ、今ヤ我國ハ進ンデ海外トノ交通ヲ頻繁ニシテ、我國運ノ進歩ヲ益圖ッテ行カウト云フノガ、即チ今日ノ方針デアアルノデアアル、然ルニ我國内ニ於テ斯ノ如キ不便ヲ感ジテ居ルト云フコトハ、實ニ國ノ方針ト相反對シテ居ル事柄デアアルノデゴザイマス、一々此島々ノ事情ヲ申述ベテ、御贊成ヲ仰ガウト云フ考デゴザイマスケレドモ、事甚ダ冗長ニ涉リマスル故ニ、其詳細ナル點ニハ論及ヲ致シマセヌデゴザイマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ)ソレ故ニ、斯ノ如ク一言申シマスレバ、諸君ハ既ニ御諒察ノ事デアラウト信ジマスル故ニ、他ノ冗長ニ涉ラタコトハ申シマセヌ、故ニ願ハクハ彼ノ島々ノ不幸ナル人民ノタメニ、滿場ノ諸君ハ、此案ニ御贊成アラントコトヲ希望致シマス、是ダケ申述ベテ置キマス

○大針徳兵衛君(百二十一番) チョット此建議者ニ一應御尋致シマス、此建議案ニ列記シテアリマスル各離島ヲ見マスルト云フト、即チ北陸以西、其他九州等ニアリマスガ、例ヘバ佐渡新潟間、羽後國ノ飛島ト酒田間、北海道ニ行キマシテハ、奥尻ト江刺間、小樽ト利尻、禮文間トカ、東海ニ至リマシテハ、伊豆ノ七島ト下田間、或ハ小笠原ト云フガ如キハ、ドウ云フ御積リデゴザイマスカ

○大島信君(六十一番) 唯今御尋ノ各島ニハ、先ツ現今ノ有様デハ、便利ヲ得テ居ルモノト認メテ居リマスルノデ、ソレヨリハ此度ノ建議案ニ載セテアリマスル處ガ、甚ダ今日不便デアアル、ソレ故ニ此島々ケノモノヲ建議ヲ致シタ所以デアアル

○大針徳兵衛君(百二十一番) 鹿兒島ヨリ大島杯ニ到ル各島ニ至リマシテハ、隨分蒸氣モ通ツテ居リマスルカラ、決シテ便利ガナイト云フコトハ言ハレマス、マ、隱岐ノ境間ノ間モ、郵船會社ナリ、若クハ大阪汽船會社ノ船モ通ツテ居リマスルカラ、不便利ハアリマセヌ、若シ之ニ補助ヲ與ヘルナラバ、各平等ニ、所謂北海道ニモ、東海ニモ、ソレゾレ補助ヲ致シタイト云フ考デアリマス

○大島信君(六十一番) 尙ホ御答致シマスガ、大島邊ハ、成ル程本島ハ其航海ノ便ハゴザイマスケレドモ、是ハ此建議ニ書イテゴザイマスルケレドモ、大島各郡各離島ノ交通ヲ云フテゴザイマスガ、是ハ一箇月ニ二回ト云フ定期航海ト云フコトニナツテ居リマスルケレドモ、極ク小サナ船ヲ唯今用ヒテ居リマスル故ニ、二箇月ニ漸ク三回位ニナツテ居ル、ソレデ一年ノ間ニ二箇月ニ三回位ノ交通ガアルト云フコトヲ御考下サレマシタナラバ、其不便ハ御察シニナラウト考ヘマス、而シテ尙ホ申落シタコトヲバ補ヒマスルガ、此書イテゴザイマスル所ノ島ニ補助ヲ致シマシテモ、僅ニ二万二千圓位ノ金ガゴザイマスレバ、隨分事足りルコトデアラウト云フ考デアリマス、ソレデドウソ直チニ、此事ハ會期モ切迫シテ居ルコトデアリマスル故ニ、即決セラレンコトヲ希望致シマス

○田邊久藏君(百七番) 此案ハ隨分列記シテアル所ノ項目ヲ見マスルト、多クハ九州邊ニ片寄ツテ居ルヤウニ考ヘマス、今何番カノ説モアリマスガ、又各地方ニ於テモ、隨分之ニ類似シテ居ル離島モアラウト思ヒマスカラ、矢張委員ニ付託シテ、十分調査ノ上、此建議案ヲ議決スルコトニ致シタイト考ヘマス

○議長(鳩山和夫君) 唯今點檢シマシタ所ガ、定足數ニ足リマセヌカラ、今日ハ是デ延會致シマス、明日ノ議事日程ハ、書面ヲ以テ御通知ニ及ビマス

(參照)

午後一時開議

午後五時二十分散會

- 第一 臺灣銀行法案(政府提出貴族院送付緊急事件) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 國有林野法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 生絲直輸出獎勵法案(政府提出緊急事件) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 明治二十七年年度歲入歲出總決算 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 明治二十七年年度各特別會計歲入歲出決算 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

- 第七 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第九 明治二十七年法律第十五號中追加法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 離島航海補助費ニ關スル建議案(島村成達君外四名提出) 前會ノ續
- 第十一 會計年度改正ニ關スル建議案(小坂善之助君外九名提出) (委員長報告) 第一讀會
- 第十二 廣島縣下郡廢置法律案(富永正男君外九名提出) 第一讀會
- 第十三 明治二十二年法律第十號中改正法律案(片岡健吉君外七名提出) 第一讀會
- 第十四 民法中改正法律案(元田肇君外一名提出) 第一讀會
- 第十五 民法中削除法律案(柏田盛文君外一名提出) 第一讀會
- 第十六 大阪府兵庫縣境界變更法律案(中野廣太郎君外六名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十七 興農法案(岡田良一郎君外二名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十八 特許意匠及商標登錄取消ノ審判期間ニ關スル法律案(元田肇君外四名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十九 恤救法案(大竹貫一君外三名提出) 第一讀會
- 第二十 救貧稅法案(大竹貫一君外三名提出) 第一讀會
- 第二十一 牛馬籍法案(目黒貞治君外八名提出) 第一讀會
- 第二十二 明治二十二年法律第二號中改正法律案(南野道親君提出) 第一讀會
- 第二十三 運河開鑿測量ニ關スル建議案(福田久松君外三名提出) 第一讀會
- 第二十四 海軍醫事ニ關スル建議案(金尾稜嚴君提出) 第一讀會
- 第二十五 製艦費ニ關スル上奏案(村上一郎君外二名提出) 第一讀會
- 第二十六 製艦費補足御下賜金及官吏納付金廢止ニ關スル建議案(長谷場純孝君外四名提出) 第一讀會
- 第二十七 下ノ關及門司ヲシテ開港外特別輸出入港指定請願(特別報告第六號) (請願委員報告)
- 第二十八 水災被害地地租特免請願(特別報告第七號) (請願委員報告)
- 第二十九 商會社會合併ニ關スル法規制定請願(特別報告第八號) (請願委員報告)
- 第三十 保險業ニ關スル法規制定請願(特別報告第九號) (請願委員報告)
- 第三十一 古社寺保存請願(特別報告第十號) (請願委員報告)
- 第三十二 特別市制撤去請願(特別報告第十一號) (請願委員報告)

- 第三十三 青森港ヲシテ開港外特別輸出入港指定請願(特別報告第十一號) (請願委員長報告)
- 第三十四 輸出羽二重検査法制定請願(特別報告第十三號) (請願委員長報告)
- 第三十五 在外淫賣婦取締法制定請願(特別報告第十四號) (請願委員長報告)
- 第三十六 郡換請願(特別報告第十五號) (請願委員長報告)
- 第三十七 牧牛保護獎勵請願(特別報告第十六號) (請願委員長報告)
- 第三十八 清水港開港請願(特別報告第十七號) (請願委員長報告)
- 第三十九 朝來郡へ編入請願(特別報告第十八號) (請願委員長報告)
- 第四十 稚内港ヲシテ特別輸出入港指定請願(特別報告第十九號) (請願委員長報告)
- 第四十一 燈臺建設請願(特別報告第二十號) (請願委員長報告)
- 第四十二 電線架設請願(特別報告第二十一號) (請願委員長報告)

衆議院議事速記録第二十八號正誤

頁 段 行 誤 正 頁 段 行 誤 正

五〇八 上 二〇 竣工後ノ 五〇八 上 二一 河岸埋立 河岸地理立地

